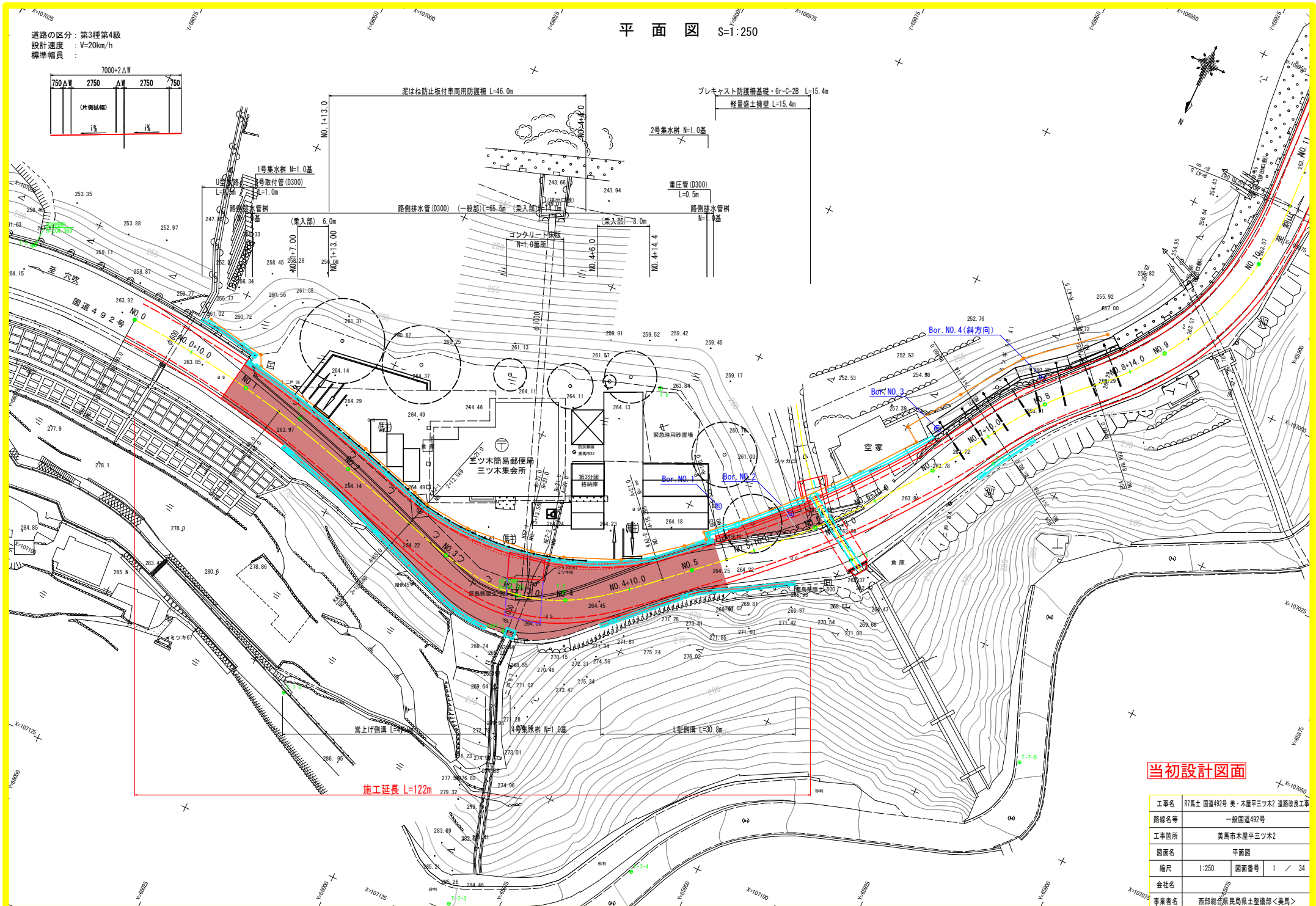


平面図 S=1:250

道路の区分：第3種第4級
設計速度：V=20km/h
標準幅員：

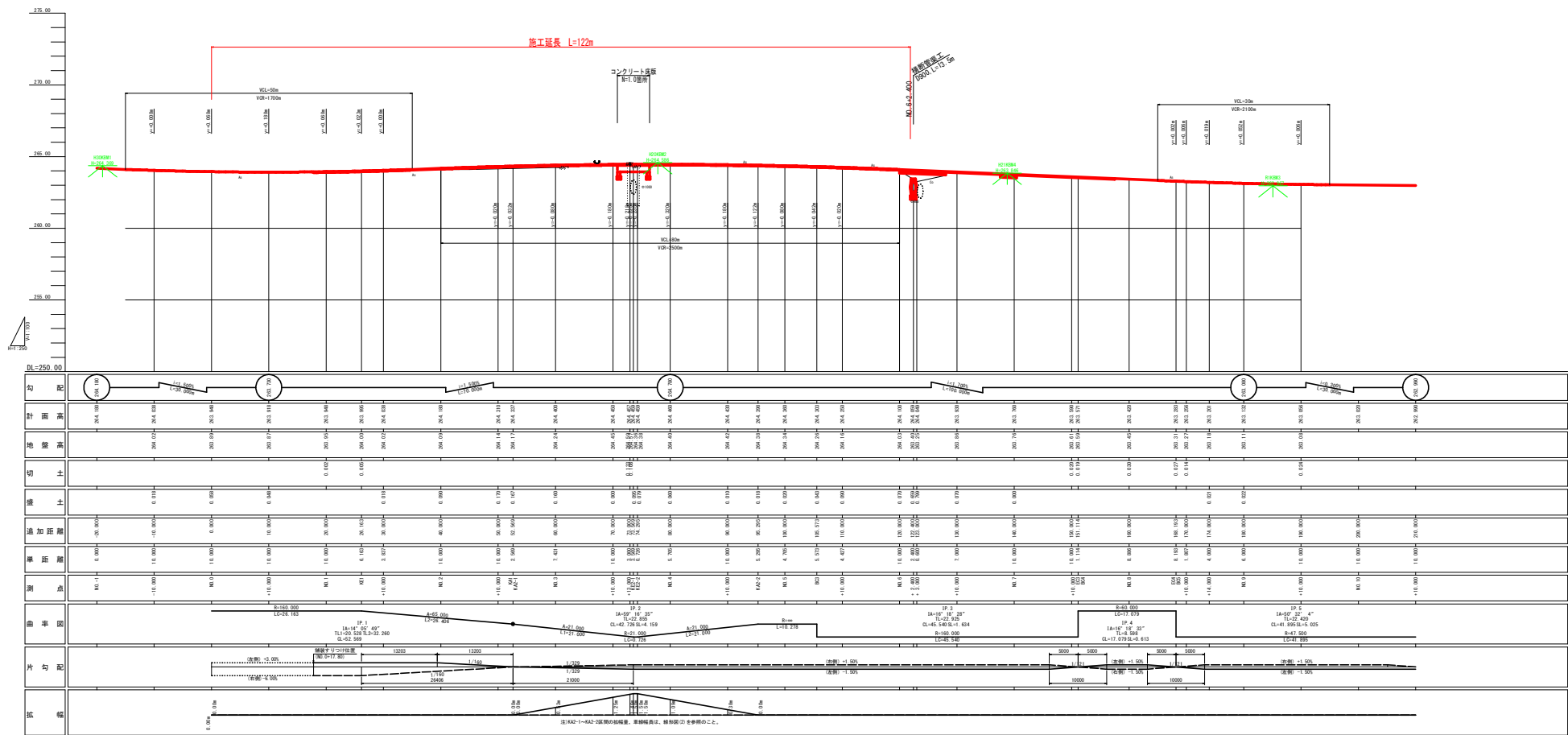
750	△	750	△	750	△	750	△
(片側幅員)							
1%							



当初設計図面

工事名	R7馬土 国道492号 美・木屋平ミツ木2 道路改良工事		
路線名等	一般国道492号		
工事箇所	美馬市木屋平ミツ木2		
図面名	平面図		
縮尺	1:250	図面番号	1 / 34
会社名	西部総合建設株式会社		
事業者名	西部総合建設株式会社 美馬市土木部		

縦断図 VS=1:100
HS=1:250

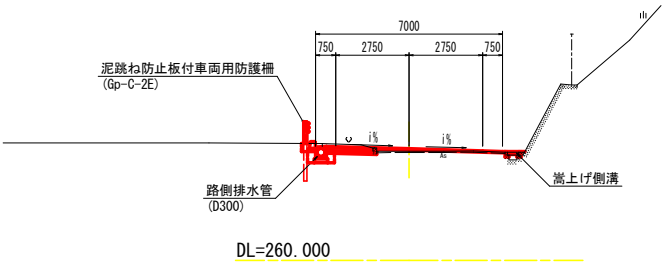


当初設計図面

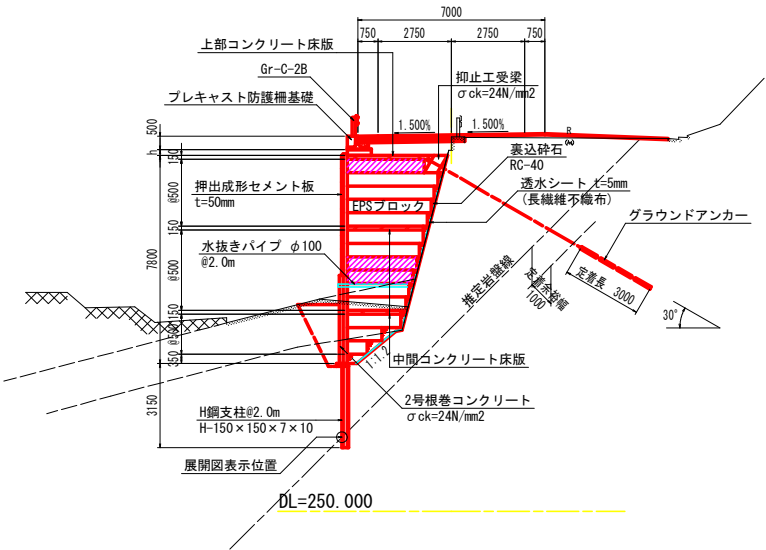
工事名	R7高土 道路40号 奥・木道平三ツ木2 道路改良工事		
路線名称	一般国道40号		
工事箇所	貴州市木道平三ツ木2		
図面名	縦断面		
縮尺	VS=1:100 HS=1:250	図面番号	2 / 34
設計者	西野総合建設株式会社 貴州>		

標準断面図 S=1:100

NO. 2付近



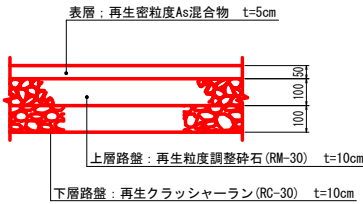
NO. 6付近



舗装構成

車道舗装

- ・舗装計画交通量 100台/日・方向 未滿
- ・舗装設計期間 10年
- ・信頼度 90%
- ・設計CBR 8以上



当初設計図面

工事名	R7馬土 国道492号 美・木屋平三ツ木2 道路改良工事			
路線名等	一般国道492号			
工事箇所	美馬市木屋平三ツ木2			
図面名	標準断面図			
縮尺	1:100	図面番号	3	/ 34
会社名				
事業者名	西部総合県民局県土整備部く美馬			

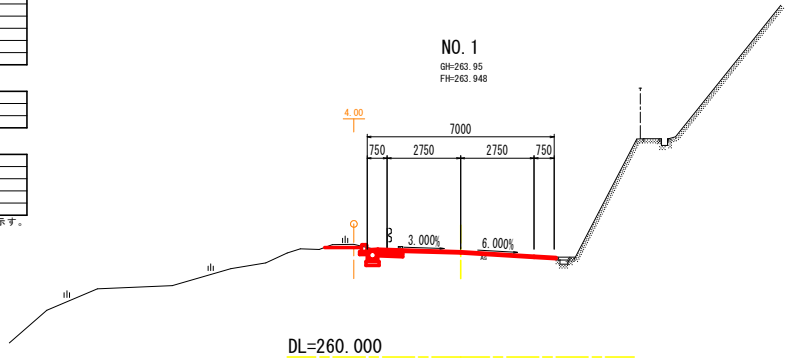
横断図(1) S=1:100

名 称			数 量
掘削	W≧5.0	土砂	0.6
	オープンカット	軟弱1	
	W<5.0	土砂	
路体盛土	片切	軟弱1	
	路体1 (W<2.5)		
	路体2 (2.5≦W<4.0)		
	路体3 (4.0≦W)		
路床盛土	路床1 (W<2.5)		
	路床2 (2.5≦W<4.0)		
	路床3 (4.0≦W)		
床掘B	土砂		0.4
埋 戻	敷石1		0.3
埋 戻 (1.0≦W)			
埋 戻 (1.5≦W<4.0)			
基面整正			0.5

構造物除去工数量			数 量
名 称			
コンクリート取壊し			0.04
舗装版取壊し			5.7

舗装工数量			数 量
名 称			
表層 (施工幅≧3.0m)			6.67
上層路盤			0.93
下層路盤			0.93
不陸整正			5.74 (0.002)

() 数量は断面積を示す。

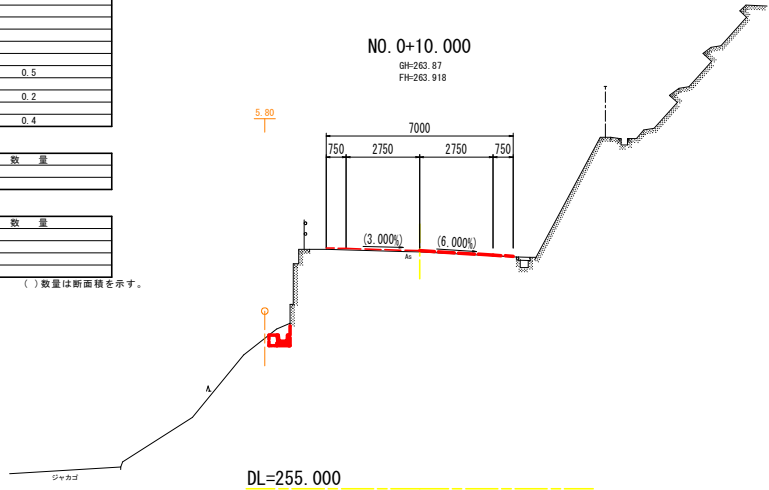


名 称			数 量
掘削	W≧5.0	土砂	
	オープンカット	軟弱1	
	W<5.0	土砂	
路体盛土	片切	軟弱1	
	路体1 (W<2.5)		
	路体2 (2.5≦W<4.0)		
	路体3 (4.0≦W)		
路床盛土	路床1 (W<2.5)		
	路床2 (2.5≦W<4.0)		
	路床3 (4.0≦W)		
床掘B	土砂		0.5
埋 戻	敷石1		0.2
埋 戻 (1.0≦W)			0.2
埋 戻 (1.5≦W<4.0)			
基面整正			0.4

構造物除去工数量			数 量
名 称			
コンクリート取壊し			
舗装版取壊し			

舗装工数量			数 量
名 称			
表層 (施工幅≧3.0m)			
上層路盤			
下層路盤			
不陸整正			

() 数量は断面積を示す。



当初設計図面

工事名	R7馬土 国道492号 美・木屋平三ツ木2 道路改良工事		
路線名等	一般国道492号		
工事箇所	美馬市木屋平三ツ木2		
図面名	横断図(1)		
縮尺	1:100	図面番号	4 / 34
会社名			
事業者名	西部総合県民局県土整備部<美馬>		

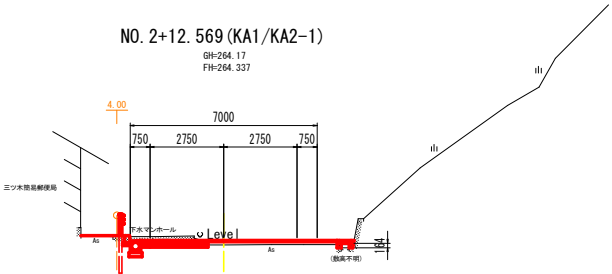
横 断 図 (2) S=1:100

名 称		数 量	
掘削	W≧5.0 土砂	0.7	
	オープンカット 軟岩I		
	W<5.0 土砂		
路体盛土	片切 軟岩I		
	路体1 (W<2.5)		
	路体2 (2.5≦W<4.0)		
路床盛土	路体3 (4.0≦W)		
	路体1 (W<2.5)		
	路体2 (2.5≦W<4.0)		
床掘B		土砂	0.4 0.1
		軟岩I	
埋 戻 (1.0<W)		0.3	
埋 戻 (1≦W<4.0)			
基面整正		0.5	

構造物撤去工数量		名 称		数 量	
舗装撤去		コンクリート取壊し		0.02	0.02
		舗装版取壊し		0.0	4.8

舗装工数量		名 称		数 量	
表層 (施工幅≧3.0m)				7.35	
		上層路盤		2.51	
下層路盤				2.51	
		不陸整正		4.84 (0.828)	

() 数量は断面積を示す。



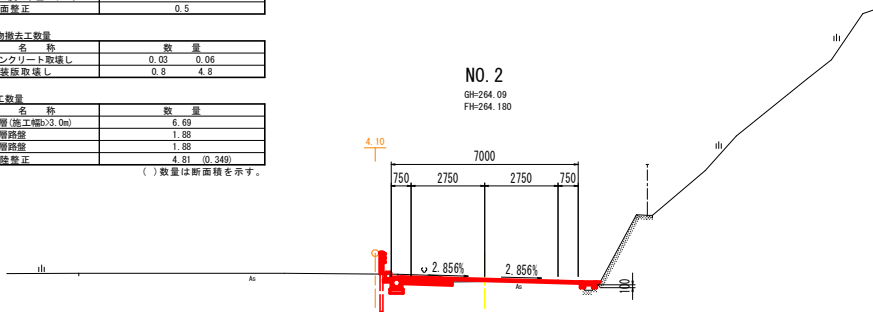
DL=260.000

名 称		数 量	
掘削	W≧5.0 土砂	0.9	
	オープンカット 軟岩I		
	W<5.0 土砂		
路体盛土	片切 軟岩I		
	路体1 (W<2.5)		
	路体2 (2.5≦W<4.0)		
路床盛土	路体3 (4.0≦W)		
	路体1 (W<2.5)		
	路体2 (2.5≦W<4.0)		
床掘B		土砂	0.4 0.1
		軟岩I	
埋 戻 (1.0<W)		0.3	
埋 戻 (1≦W<4.0)			
基面整正		0.5	

構造物撤去工数量		名 称		数 量	
舗装撤去		コンクリート取壊し		0.03	0.06
		舗装版取壊し		0.8	4.8

舗装工数量		名 称		数 量	
表層 (施工幅≧3.0m)				6.69	
		上層路盤		1.88	
下層路盤				1.88	
		不陸整正		4.81 (0.349)	

() 数量は断面積を示す。



DL=260.000

当初設計図面

工事名	R7馬土 国道492号 美・木屋平三ツ木2 道路改良工事		
路線名等	一般国道492号		
工事箇所	美馬市木屋平三ツ木2		
図面名	横断面(2)		
縮尺	1:100	図面番号	5 / 34
会社名			
事業者名	西部総合県民局県土整備部<美馬>		

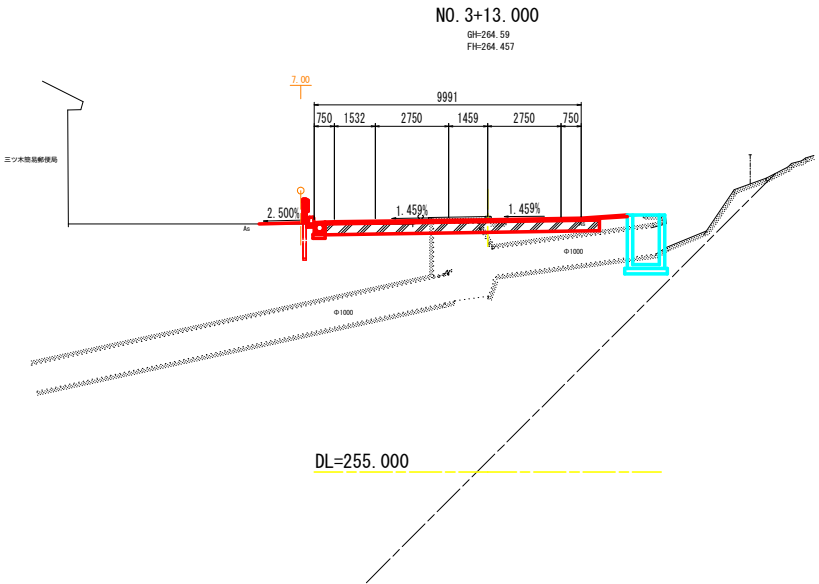
横断図(3) S=1:100

名 称	数 量
掘削	
W≧5.0 土砂	3.5
オープンカット 軟岩I	
W<5.0 土砂	
片切 軟岩I	
路体盛土	
路床1 Ⅱ<Ⅰ	
路床2 Ⅱ.5≧Ⅱ<Ⅳ	
路床3 Ⅳ.0≧Ⅱ	
路床盛土	
路床1 Ⅱ<Ⅰ	
路床2 Ⅱ.5≧Ⅱ<Ⅳ	
路床3 Ⅳ.0≧Ⅱ	
床面B	0.4
敷岩I	
埋 戻 (1.0<Ⅱ)	0.2
埋 戻 (Ⅰ≧Ⅱ<Ⅳ.0)	
基面整正	0.5

構造物撤去工数量	名 称	数 量
コンクリート取壊し	0.96	0.24
舗装板取壊し	4.2	5.2

舗装工数量	名 称	数 量
表層(施工幅≧3.0m)	11.32	
上層路盤		
下層路盤		
不陸整正		

() 数量は断面積を示す。

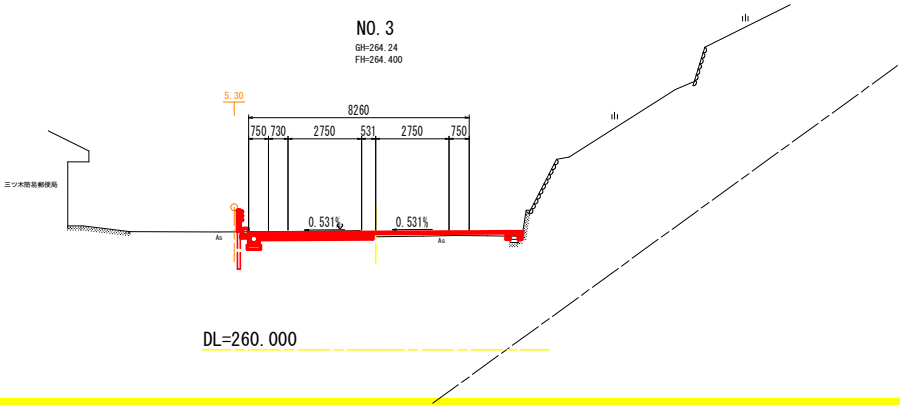


名 称	数 量
掘削	
W≧5.0 土砂	1.4
オープンカット 軟岩I	
W<5.0 土砂	
片切 軟岩I	
路体盛土	
路床1 Ⅱ<Ⅰ	
路床2 Ⅱ.5≧Ⅱ<Ⅳ	
路床3 Ⅳ.0≧Ⅱ	
路床盛土	
路床1 Ⅱ<Ⅰ	
路床2 Ⅱ.5≧Ⅱ<Ⅳ	
路床3 Ⅳ.0≧Ⅱ	
床面B	0.4
敷岩I	0.1
埋 戻 (1.0<Ⅱ)	0.3
埋 戻 (Ⅰ≧Ⅱ<Ⅳ.0)	
基面整正	0.5

構造物撤去工数量	名 称	数 量
コンクリート取壊し	0.03	0.02
舗装板取壊し	2.8	5.0

舗装工数量	名 称	数 量
表層(施工幅≧3.0m)	0.24	
上層路盤	4.26	
下層路盤	4.26	
不陸整正	4.98	(0.785)

() 数量は断面積を示す。



当初設計図面

工事名	87馬土 国道492号 美・木屋平三ツ木2 道路改良工事
路線名等	一般国道492号
工事箇所	美馬市木屋平三ツ木2
図面名	横断図(3)
縮尺	1:100
図面番号	6 / 34
会社名	
事業者名	西部総合県民局県土整備部<美馬>

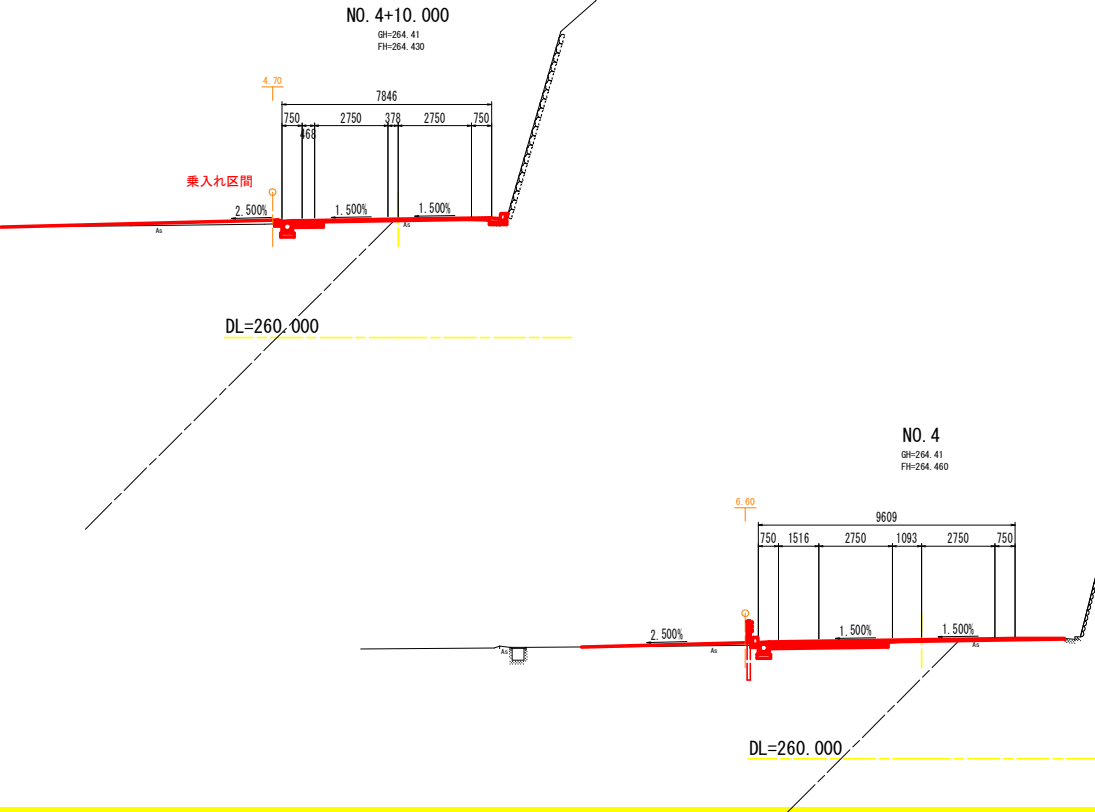
横断図(4) S=1:100

名 称		数 量	
掘削	W≧5.0	土砂	0.2
	オープンカット	軟岩I	
	W<5.0	土砂	
路体盛土	片切	軟岩I	
	路体1 (8<L≦)		
	路体2 (2.5≦W<4.0)		
路床盛土	路体3 (4.0≦W)		
	路体1 (8<L≦)		
	路体2 (2.5≦W<4.0)		
床部B	路体3 (4.0≦W)		
	土砂	0.4	0.1
	軟岩I		
埋 戻	(1.0<W)		0.2
埋 戻	(1.0≦W<4.0)		
基面整正		0.5	0.7

構造物撤去工数量		数 量	
名 称			
コンクリート取壊し		0.05	0.09
舗装取壊し		1.8	6.2

舗装工数量		数 量	
名 称			
表層(施工幅≧3.0m)		7.37	
上層路盤		1.15	
下層路盤		1.15	
不陸整正		6.22	(0.351)

() 数量は断面積を示す。



名 称		数 量	
掘削	W≧5.0	土砂	0.4
	オープンカット	軟岩I	
	W<5.0	土砂	
路体盛土	片切	軟岩I	
	路体1 (8<L≦)		
	路体2 (2.5≦W<4.0)		
路床盛土	路体3 (4.0≦W)		
	路体1 (8<L≦)		
	路体2 (2.5≦W<4.0)		
床部B	路体3 (4.0≦W)		
	土砂	0.4	
	軟岩I		
埋 戻	(1.0<W)		0.2
埋 戻	(1.0≦W<4.0)		
基面整正		0.5	

構造物撤去工数量		数 量	
名 称			
コンクリート取壊し		0.04	0.6
舗装取壊し		5.1	6.6

舗装工数量		数 量	
名 称			
表層(施工幅≧3.0m)		10.06	
上層路盤		4.46	
下層路盤		4.46	
不陸整正		6.60	(0.264)

() 数量は断面積を示す。

当初設計図面

工事名	R7馬土 国道492号 美・木屋平三ツ木2 道路改良工事		
路線名等	一般国道492号		
工事箇所	美馬市木屋平三ツ木2		
図面名	横断面(4)		
縮尺	1:100	図面番号	7 / 34
会社名			
事業者名	西部総合県民局県土整備部<美馬>		

横断図(5) S=1:100

名 称	数 量
W≧5.0 オープンカット W<5.0 片切	土砂 軟装1 土砂 軟装1
路体盛土	路体1 W<2.5 路体2 2.5≦W<4.0 路体3 4.0≦W
路床盛土	路床1 W<2.5 路床2 2.5≦W<4.0 路床3 4.0≦W
床締固	土砂 軟装1
埋 戻 (1.0<埋)	
埋 戻 (1≦埋<4.0)	2.4
基面整正	1.0 0.7

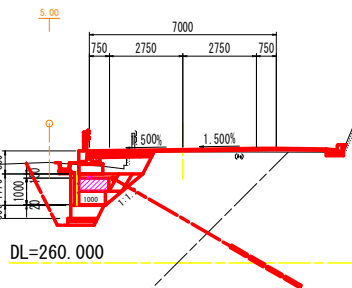
構造物撤去工数量	名 称	数 量
コンクリート取壊し	0.39	0.09
舗装版取壊し		7.0

舗装工数量	
名 称	数 量
表層(施工幅b>3.0m)	8.87
上層路盤	2.33
下層路盤	2.33
不陸整正	6.55 (0.807)

() 数量は断面積を示す。

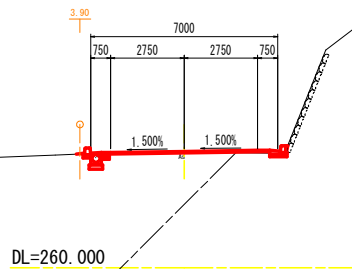
NO. 5+10.000

GH=264.16
FH=264.250



NO. 5

GH=264.34
FH=264.360



名 称	数 量
W≧5.0 オープンカット W<5.0 片切	土砂 軟装1 土砂 軟装1
路体盛土	路体1 W<2.5 路体2 2.5≦W<4.0 路体3 4.0≦W
路床盛土	路床1 W<2.5 路床2 2.5≦W<4.0 路床3 4.0≦W
床締固	土砂 軟装1
埋 戻 (1.0<埋)	
埋 戻 (1≦埋<4.0)	0.3
基面整正	0.5 0.7

構造物撤去工数量	名 称	数 量
コンクリート取壊し	0.04	0.09
舗装版取壊し	0.6	6.4

舗装工数量	
名 称	数 量
表層(施工幅>3.0m)	6.31
上層路盤	0.30
下層路盤	0.30
不陸整正	6.00 (0.275)

() 数量は断面積を示す。

当初設計図面

工事名	R7馬土 国道492号 美・木屋平三ツ木2 道路改良工事
路線名等	一般国道492号
工事箇所	美馬市木屋平三ツ木2
図面名	横断図(5)
縮尺	1:100 図面番号 8 / 34
会社名	
事業者名	西部総合県民局県土整備部<美馬>

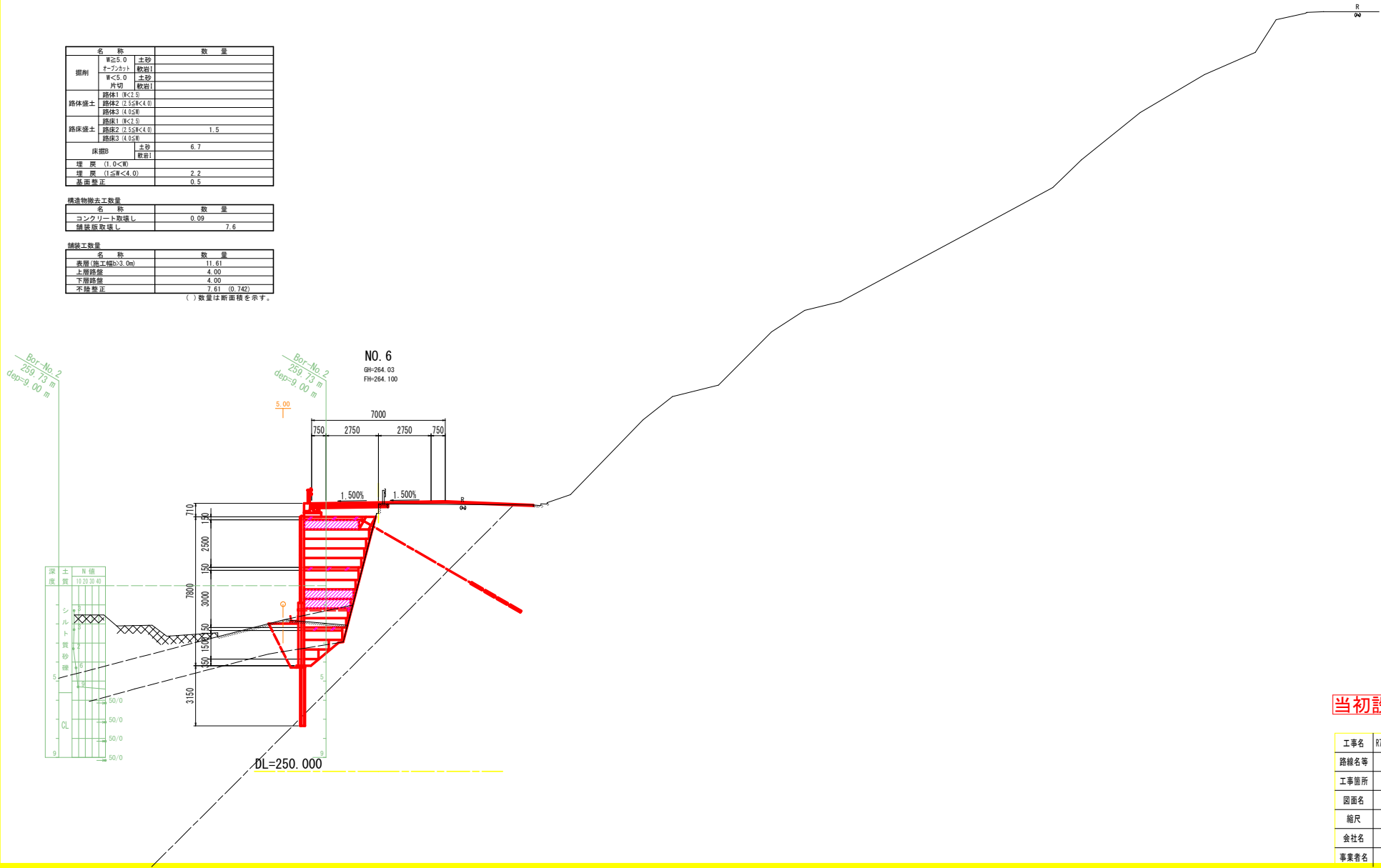
横 断 図 (6) S=1:100

名 称	数 量
掘削	
W≧5.0	土砂 数量1
W<5.0	土砂 数量1
片切	数量1
路体盛土	
路体1 (W<2.5)	
路体2 (2.5≦W<4.0)	
路体3 (4.0≦W)	
路床盛土	
路床1 (W<2.5)	
路床2 (2.5≦W<4.0)	1.5
路床3 (4.0≦W)	
床掘削	土砂 数量1
埋 戻 (1.0<W)	6.7
埋 戻 (1.0≦W<4.0)	2.2
基礎整正	0.5

構造物除去工数量	名 称	数 量
コンクリート取壊し		0.09
舗装取壊し		7.6

舗装工数量	名 称	数 量
表層(施工厚≧3.0m)		11.61
上層路盤		4.00
下層路盤		4.00
不陸整正		7.61 (0.742)

() 数量は断面積を示す。

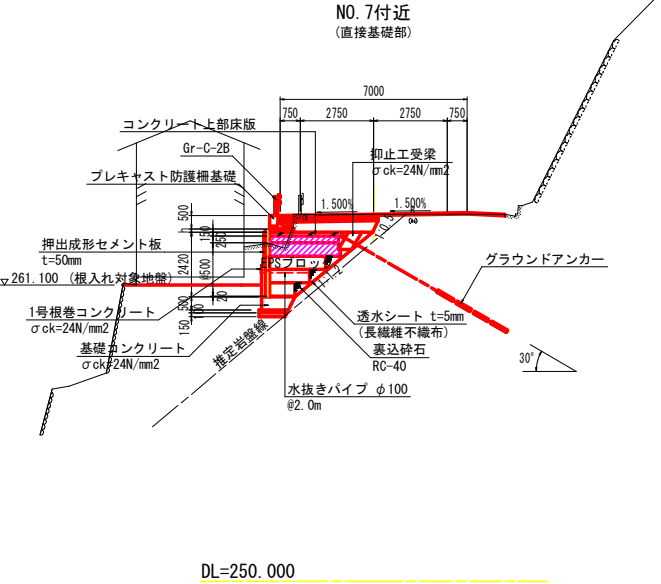
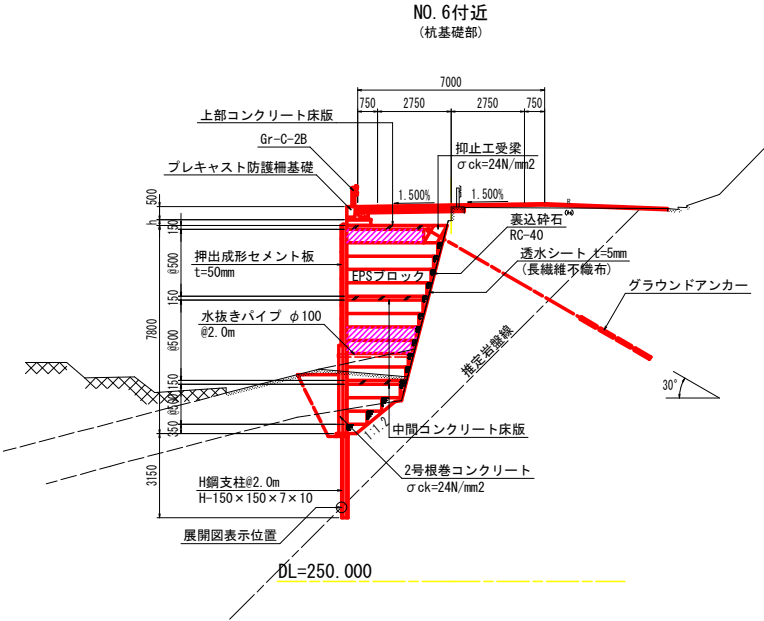


当初設計図面

工事名	R7馬土 国道492号 美・木屋平三ツ木2 道路改良工事		
路線名等	一般国道492号		
工事箇所	美馬市木屋平三ツ木2		
図面名	横断図 (6)		
縮尺	1:100	図面番号	9 / 34
会社名			
事業者名	西部総合県民局県土整備部<美馬>		

構造図 (1)

軽量盛土擁壁 S=1:100

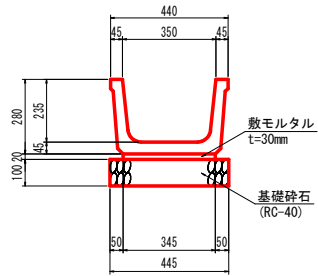


当初設計図面

工事名	R7馬土 国道492号 美・木屋平三ツ木2 道路改良工事			
路線名等	一般国道492号			
工事箇所	美馬市木屋平三ツ木2			
図面名	構造図 (1)			
縮尺	図示	図面番号	10	/ 34
会社名				
事業者名	西部総合県民局県土整備部<美馬>			

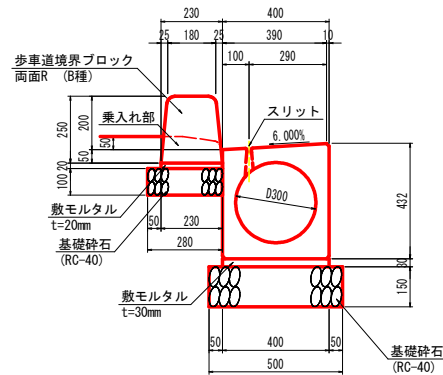
構造図 (2)

U型水路 S=1:10
(鉄筋コンクリートベンチフリューム 350)



(10.0m当たり)		
名 称	数 量	
側溝	5.0	個
敷モルタル	0.069	m3
基礎碎石	4.450	m2

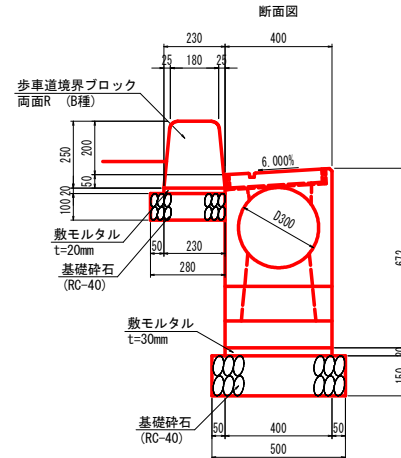
路側排水管 S=1:10
(D300)



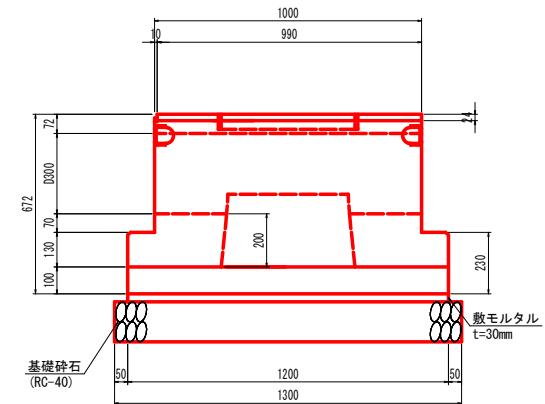
※路側排水管延長 $L=10\text{m}$ に1箇所程度
銅製蓋タイプを設けること。

(10.0m当たり)		
名 称	数	量
路側排水管	5.0	個
基礎砕石(15cm)	5.000	m ²
歩車道境界ブロック	16.5	m ³
敷モルタル	0.046	本
基礎砕石(10cm)	2.800	m ²

路側排水管柵 S=1:10
(D300)

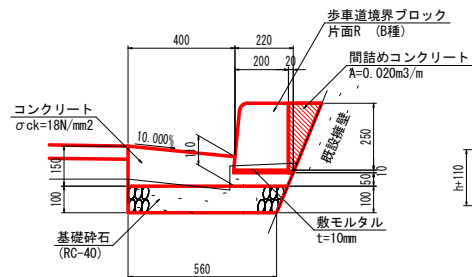


側面図



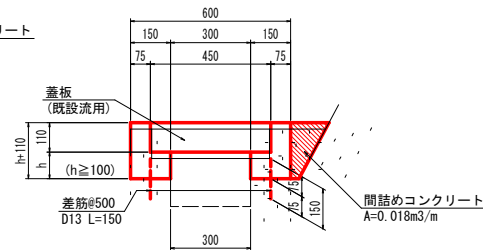
(1.0基当たり)		
名 称	数 量	
プレキャスト樹	1.0	基
敷モルタル	0.014	m ³
基礎砕石	0.650	m ²
歩車道境界ブロック	1.7	個
敷モルタル	0.005	m ³
基礎砕石	0.280	m ²

L型側溝 S=1:10



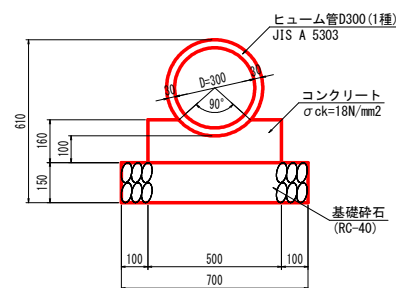
(10.0m当たり)		
名 称	数 量	
コンクリート	0.630	m3
間詰めコンクリート	0.200	m3
型枠	1.500	m2
歩車道境界ブロック	16.5	個
基礎碎石	6.500	m2
数モルタル	0.020	m3

嵩上げ側溝 S=1:10



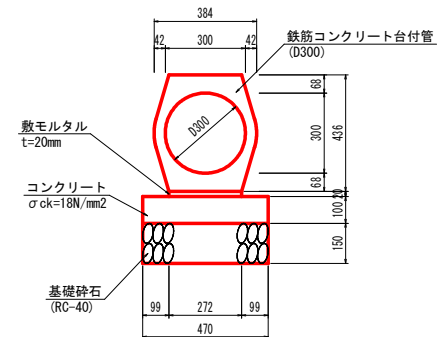
(1.0m当たり)		
名 称	数 量	
コンクリート	$0.300h + 0.017$	m ³
間詰めコンクリート	0.018	m ³
型枠	$3 \times (h + 0.110)$	m ²
差筋	0.597	kg
削孔	4.000	箇所
既設撤去・設置	2.000	枚

1号取付管 S=1:10
(D300)



(10.0㎡当たり)	
名 称	数 量
管本数	5.00 本
コンクリート	0.688 ㎡
型枠	3.200 ㎡
基礎砕石	7.000 ㎡

2号取付管 S=1:10
(D300)

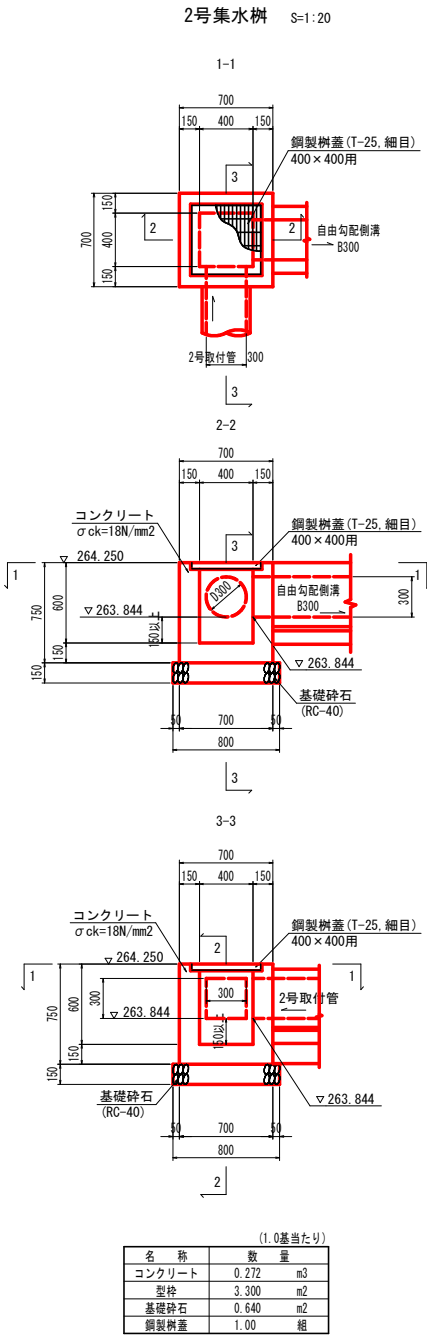
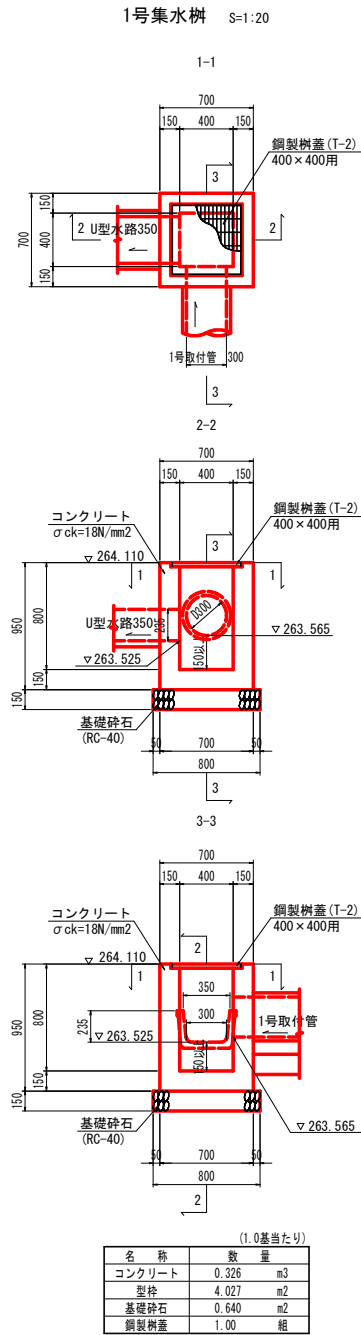


名 称	数 量	
管本数	5.00	本
数モルタル	0.054	m3
コンクリート	0.470	m3
型枠	2.000	m2
基礎碎石	4.700	m2

当初設計図面

工事名	R7馬士 国道492号 美・木屋平三ツ木2 道路改良工事		
路線名等	一般国道492号		
工事箇所	美馬市木屋平三ツ木2		
図面名	構造図 (2)		
縮尺	図示	図面番号	11 / 34
会社名			
事業者名	西部総合集材局泉土整備部＜美馬＞		

構造図 (4)

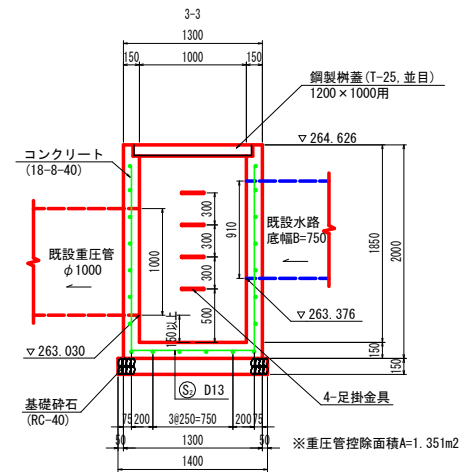
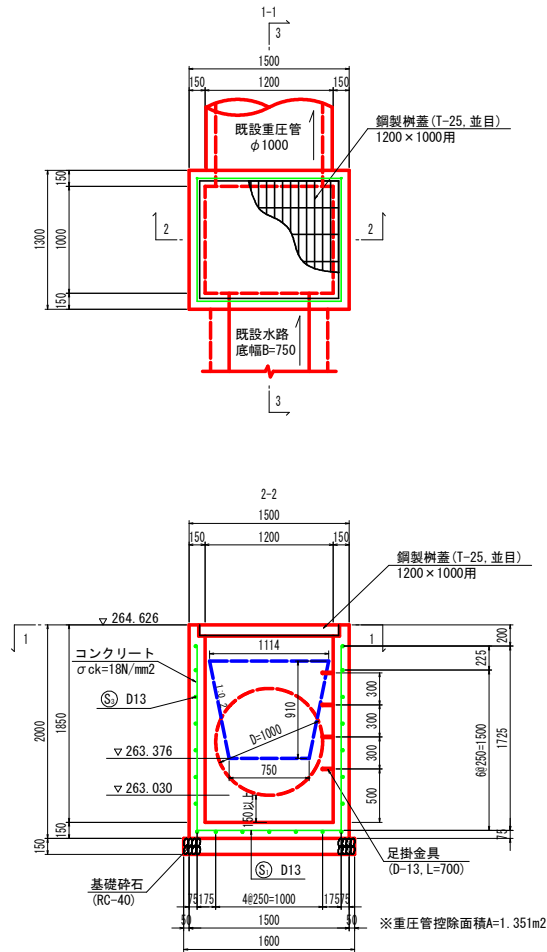


当初設計図面

工事名	R7馬土 国道492号 美・木屋平三ツ木2 道路改良工事		
路線名等	一般国道492号		
工事箇所	美馬市木屋平三ツ木2		
図面名	構造図 (4)		
縮尺	図示	図面番号	12 / 34
会社名			
事業者名	西部総合県民局県土整備部<美馬>		

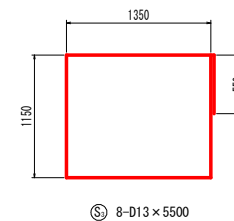
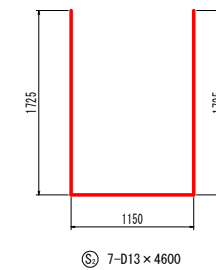
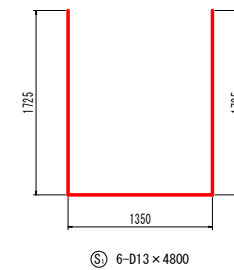
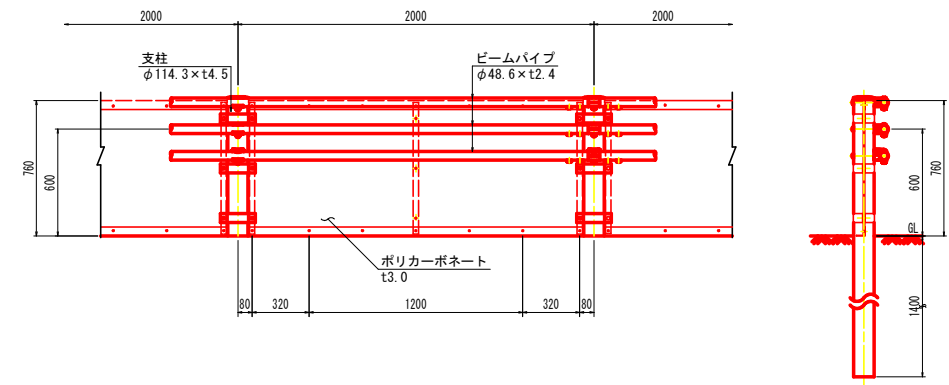
構造図 (5)

4号集水枋 S=1:25



(1.0基当たり)		
名 称	数 量	
コンクリート	1.466	m3
型枠	15.602	m2
鉄筋	104.48	kg
基礎碎石	2.240	m2
鋼製樹蓋	1.00	組
足掛金具	2.79	kg

泥はね防止板付車両用防護柵 S=1:15
(Gp-C-2E)
(参考図)

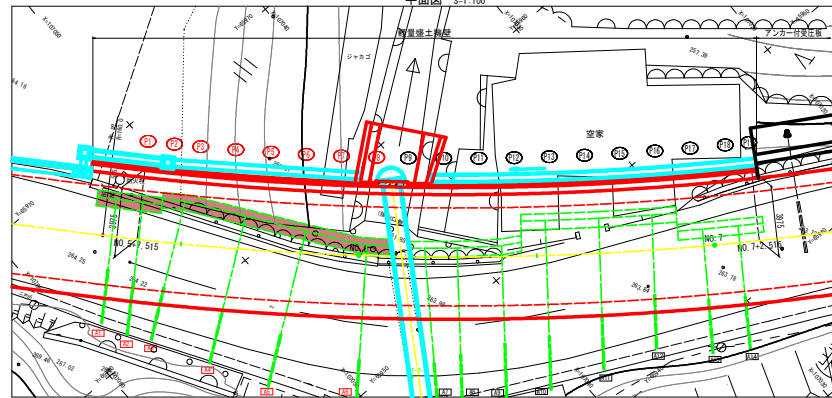
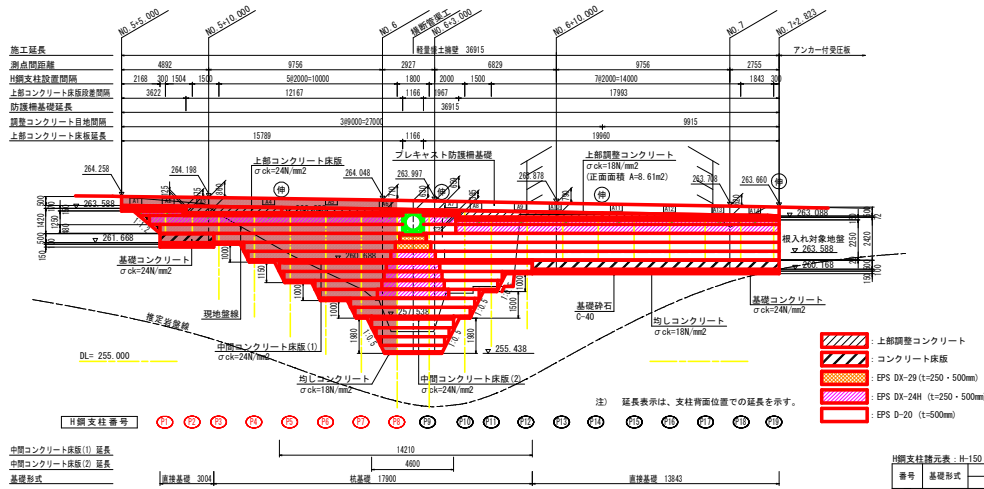


記号	径	長さ	本数	単重	質量
⑤	D13	4800	6	0.995	28.66
⑥	D13	4600	7	0.995	32.04
⑦	D13	5500	8	0.995	43.78
SD345			D13	104.48kg	

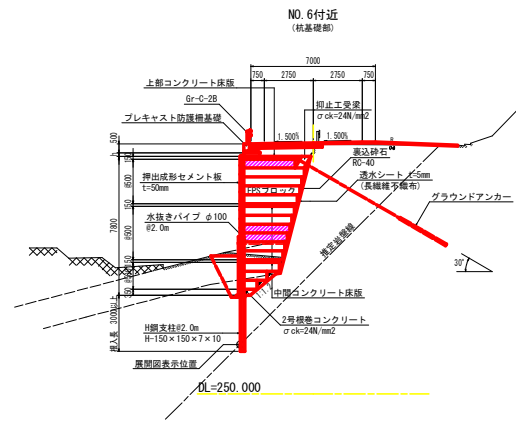
当初設計図面

工事名	R7馬土 国道492号 美・木屋平三ツ木2 道路改良工事		
路線名等	一般国道492号		
工事箇所	美馬市木屋平三ツ木2		
図面名	構造物(5)		
縮尺	図示	図面番号	13 / 34
会社名			
事業者名	西部総合農林局農土整備部<美馬>		

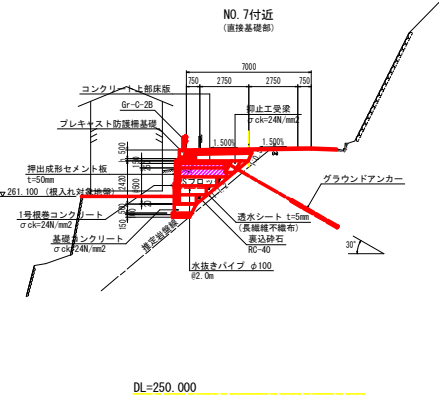
軽量盛土工展開図 S=1:100



軽量盛土擁壁一般図



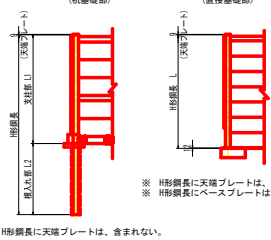
横断面 S=1:100



H鋼支柱位置表 H=150×150×7×10

番号	基礎形式	柱位置 (m)		H鋼長さ L1+L2 (m)	支柱部 L1 (m)	支柱部 L2 (m)	土砂部 長さ	敷設部
		X座標	Y座標					
101050.958	直線基礎	65967.555	1.470	1.470	-	-	-	-
101049.924	直線基礎	65966.465	1.220	1.220	-	-	-	-
101048.881	直線基礎	65965.381	4.900	1.920	3.080	-	-	-
101047.476	直線基礎	65963.966	5.900	2.820	3.080	-	-	-
101046.052	直線基礎	65962.563	7.000	3.970	3.030	-	-	-
101044.610	直線基礎	65961.178	8.000	4.970	3.030	-	-	-
101043.151	直線基礎	65959.812	9.000	5.970	3.030	-	-	-
101041.674	直線基礎	65958.464	11.000	7.950	2.677	0.373	-	-

H形鋼模式図 S=1:50



アンカー工種一覧表

番号	設計アンカー力 (kN/本)		アンカー長さ (m)		耐力 (kN)		耐力 (kN)	
	(常時)	(地震時)	(自由長)	(定着長)	(合計)	(耐力土)	(軟岩)	(合計)
A1	4,000	3,000	7,000	2.25	4.25	6.50		
A2	4,500	3,000	7,500	2.60	4.40	7.00		
A3	5,000	3,000	8,000	3.38	4.12	7.50		
A4	5,500	3,000	8,500	3.74	4.26	8.00		
A5	6,000	3,000	9,000	4.10	4.40	8.50		
A6	6,500	3,000	9,500	4.63	4.37	9.00		

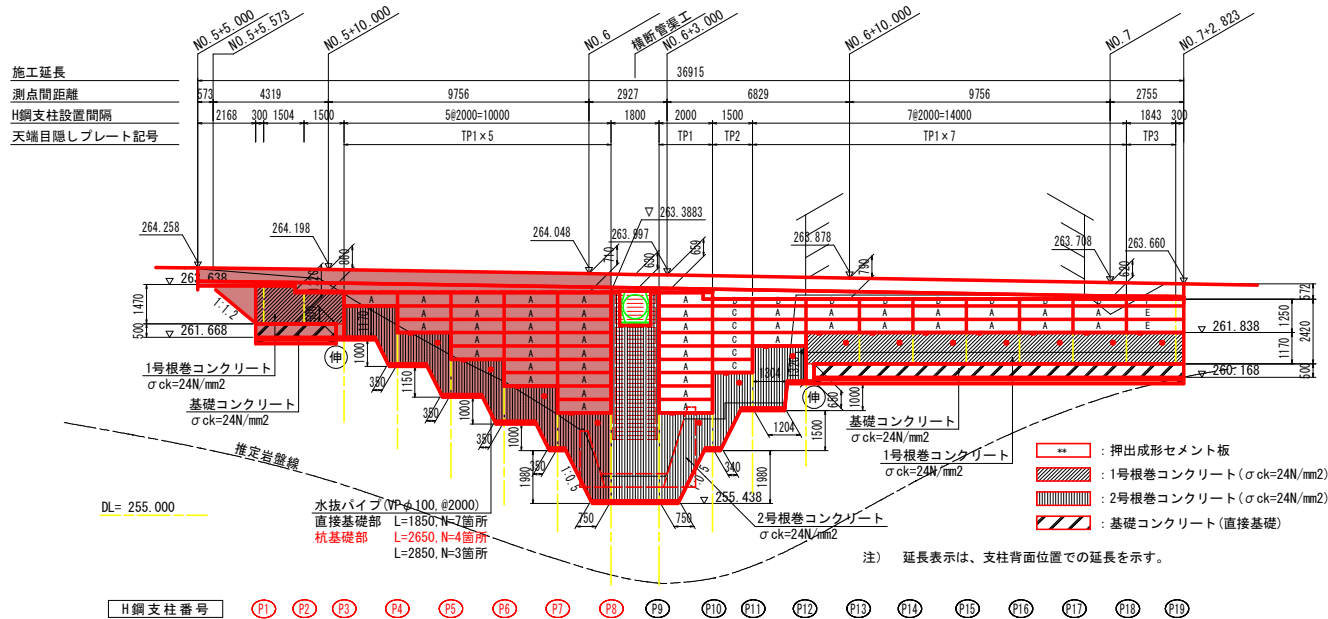
※アンカー緊張力は、常時の設計アンカー力の100%とする。

当初設計図面

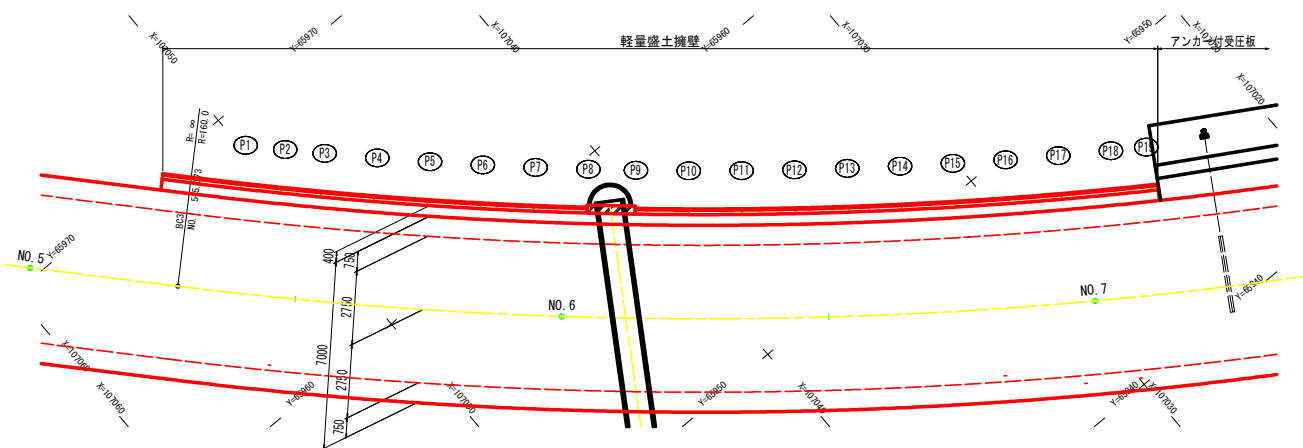
工事名	H形鋼土留壁工 奥・大塚三ツツ2 道路改良工事		
路線名等	一般国道43号		
工事箇所	奥馬場木原平三ツツ2		
図面名	軽量盛土擁壁一般図		
図尺	図面番号	14	/ 34
会社名	西都建設株式会社		
事業名	西都建設株式会社 奥馬場木原平三ツツ2 道路改良工事		

輕量盛土擁壁壁面工展開図

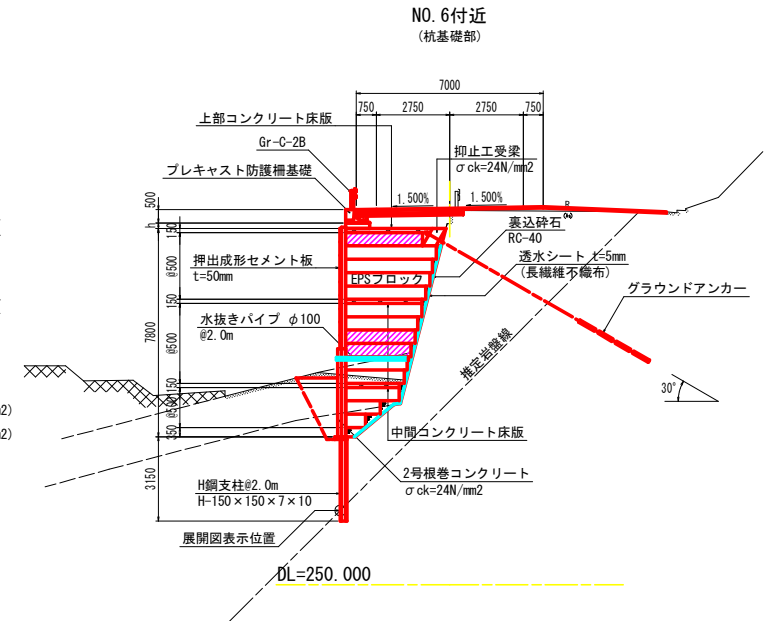
壁面工展開図 S=1:100



平面图 S=1:100



標準断面図 S=1:100



取付材 材料表

名 称	形状寸法	規 格	単位	数量	摘 要
H形鋼支柱取付金具	支柱結合用フッカー		セット	13	溶融亜鉛メッキ
天端プレート	PL-150×9.0×150	SS400	セット	19	溶融亜鉛メッキ HD255
天端目隠プレート	TP1 PL-340×4.5×1980	SS400	個	5	溶融亜鉛メッキ HD245
天端目隠プレート	TP2 PL-340×4.5×1390	SS400	個		溶融亜鉛メッキ HD245
天端目隠プレート	TP3 PL-340×4.5×1230	SS400	個		溶融亜鉛メッキ HD245
段差部取付プレート (段差高 250mm)	PL-235.5×4.5×410	SS400	個		溶融亜鉛メッキ HD245
	PL- 80.4×4.5×350	SS400	個		溶融亜鉛メッキ HD245

壁面材 材料表

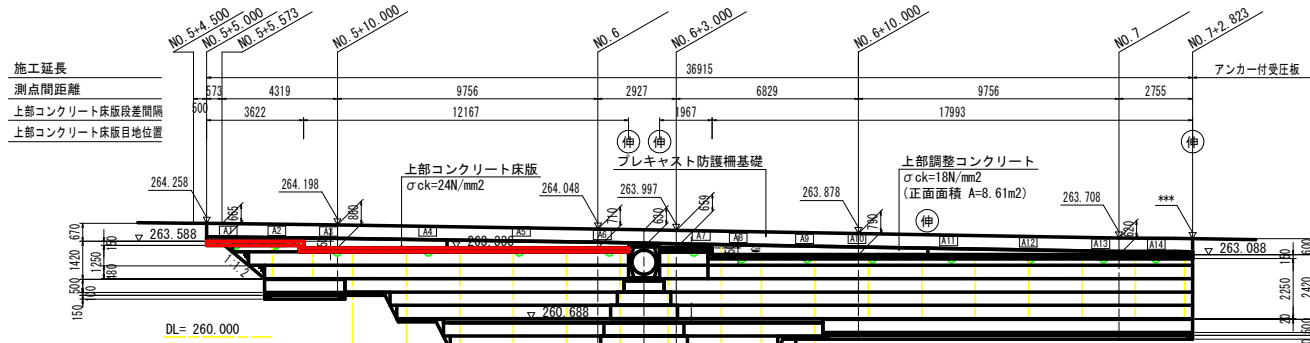
名 称	形状寸法	単位	数量	摘 要
押出成形セメント板 A	1980×500×50 (mm)	枚	25	標準部
押出成形セメント板 B	1980×250×50 (mm)	枚		標準部
押出成形セメント板 C	1480×500×50 (mm)	枚		標準部
押出成形セメント板 D	1480×250×50 (mm)	枚		標準部
押出成形セメント板 E	2130×500×50 (mm)	枚		終点側端部
押出成形セメント板 F	2130×250×50 (mm)	枚		終点側端部
合 計			25	

当初設計図面

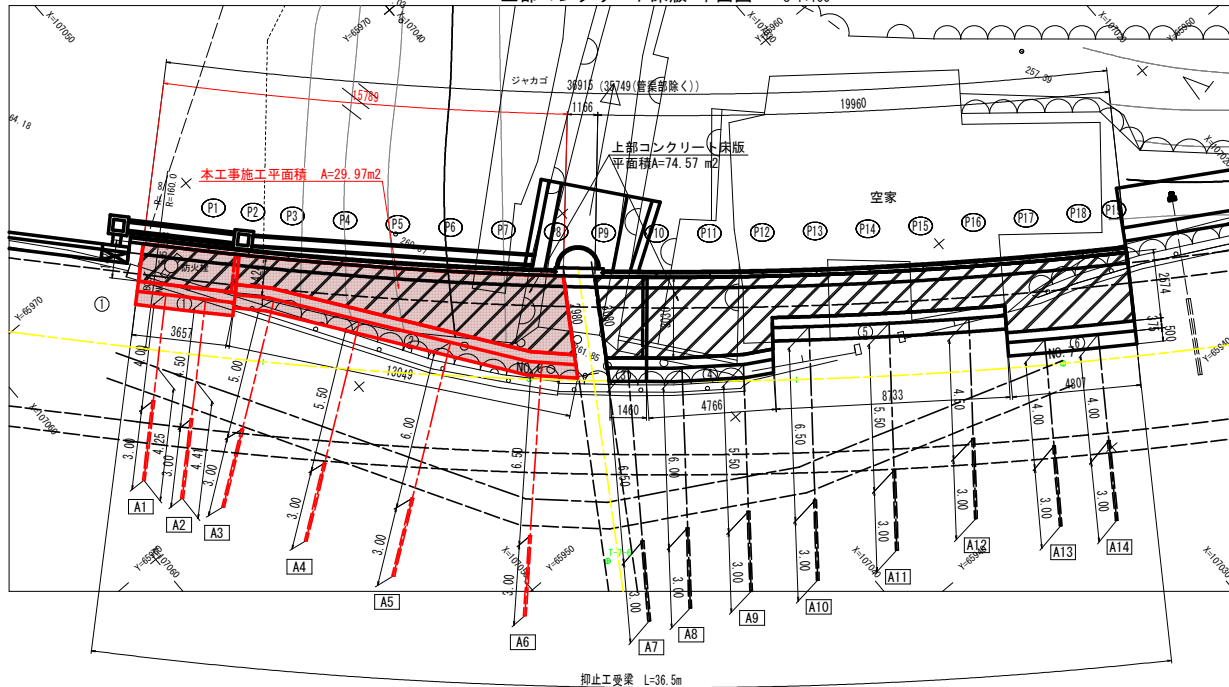
工事名	R7馬土 国道402号 美・木座平三ツ木2 道路改良工事		
路線名等	一般国道402号		
工事箇所	美馬市木座平三ツ木2		
図面名	軽量壁土擁壁面工展開図		
縮尺	1:100	図面番号	15 / 34
会社名			
事業者名	西部総合農業局馬土整備部<美馬>		

軽量盛土擁壁コンクリート床版平面図（１） （上部コンクリート床版）

側面図 S=1:100



上部コンクリート床版 平面図 S=1:100



上部コンクリート床版 数量表

項目	単位	数量	摘要
延長	m	15.78	NO.5+5.000 ~ H形鋼NO.8付近
施工上面高	m	▽263.588(始点側) ~ ▽263.338(終点側)	
施工厚	m	0.150	
施工平面積	m ²	29.97	CADより求積
段差箇所数	箇所	1	段差高 h=250mm
目地材箇所数	箇所	1	t=20mm・床版部
	箇所	1	t=20mm・受梁部

床版段差部施工幅（始点側から）

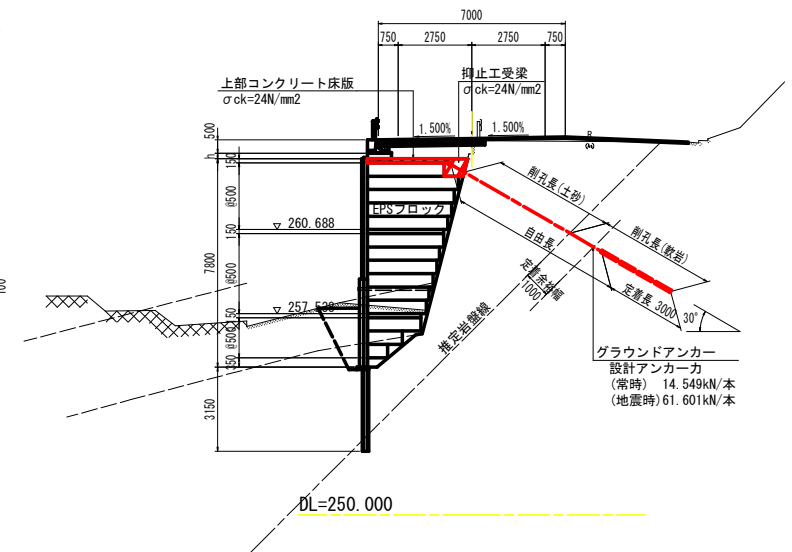
段差高 h(m)	施工幅 B(m)
1	0.250
2	1.424

目地材施工幅

施工幅 B(m)	摘要
1	2.980
2	
3	

横断面 S=1:100

NO.6付近



アンカー工諸元表

設計アンカー力 (kN/本)		アンカー長 (m)			削孔長 (m)				
番号	(常時)	(地震時)	(自由長)	(定着長)	(合計)	(硬質土)	(軟岩)	(合計)	
A1	14.549	61.601	4.000	3.000	7.000	2.25	4.25	6.50	
A2			4.500	3.000	7.500	2.60	4.40	7.00	
A3			5.000	3.000	8.000	3.38	4.12	7.50	
A4			5.500	3.000	8.500	3.74	4.26	8.00	
A5			6.000	3.000	9.000	4.10	4.40	8.50	
A6			6.500	3.000	9.500	4.63	4.37	9.00	
A7									
A8									
A9									
A10									
A11									
A12									
A13									
A14									

抑止工受梁延長

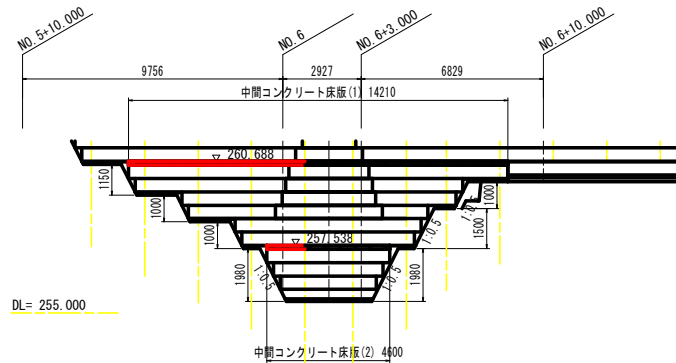
番号	延長 L(m)	摘要
①	3.657	
②	13.049	
③		
④		
⑤		
⑥		
合計	16.706	

当初設計図面

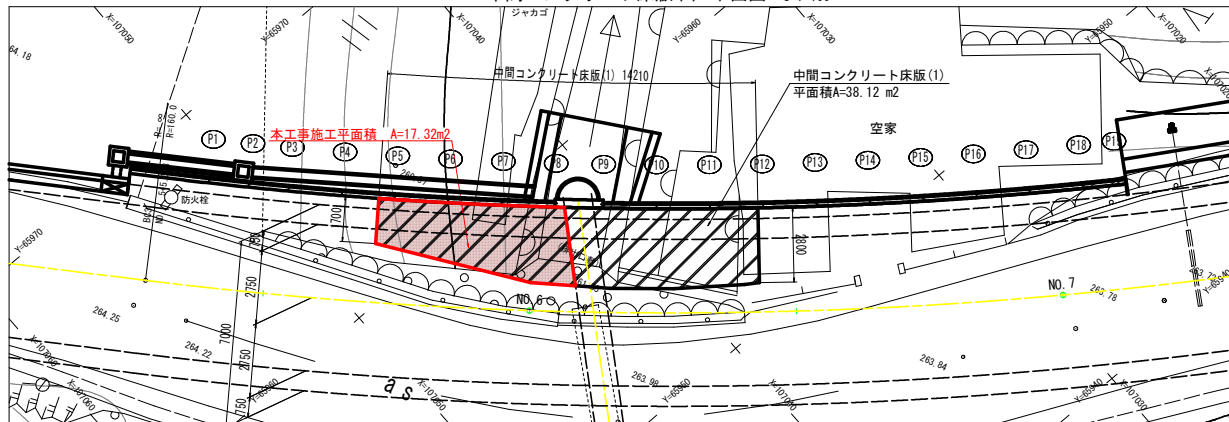
工事名	R7馬土 国道492号 美・木屋平三ツ木2 道路改良工事
路線名等	一般国道492号
工事箇所	美馬市木屋平三ツ木2
図面名	軽量盛土上部床版コンクリート平面図
縮尺	1:100
図面番号	16 / 34
会社名	
事業者名	西部総合県民局県土整備部<美馬>

軽量盛土擁壁コンクリート床版平面図 (2) (中間コンクリート床版)

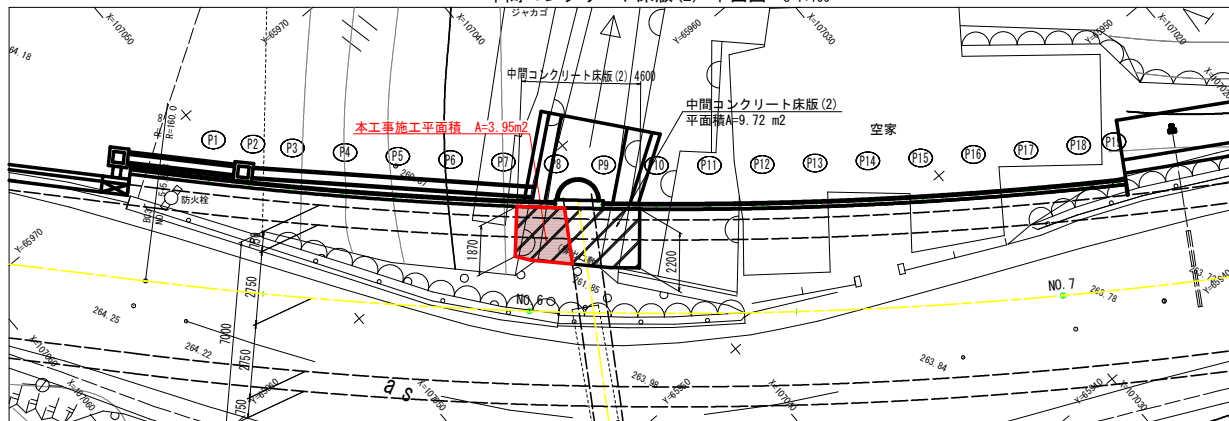
側面図 S=1:100



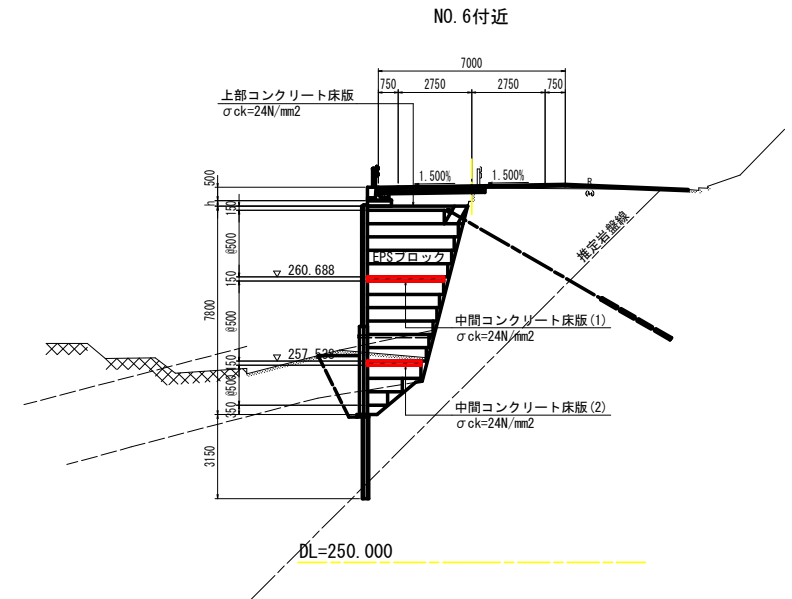
中間コンクリート床版(1) 平面図 S=1:100



中間コンクリート床版(2) 平面図 S=1:100



横断面 S=1:100



中間コンクリート床版(1) 数量表

項 目	単位	数 量	摘 要
延 長	m	7.09	H形鋼NO. 5付近～H形鋼NO. 8付近
施工上面高	m	▽260.688	
施工厚	m	0.150	
施工平面積	m2	17.32	CADより求積

中間コンクリート床版(2) 数量表

項 目	単位	数 量	摘 要
延 長	m	1.780	H形鋼NO. 7付近～H形鋼NO. 8付近
施工上面高	m	▽257.538	
施工厚	m	0.150	
施工平面積	m2	3.95	CADより求積

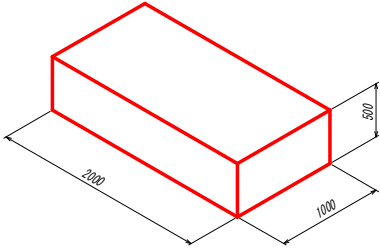
当初設計図面

工事名	R7馬土 国道492号 美・木屋平三ツ木2 道路改良工事		
路線名等	一般国道492号		
工事箇所	美馬市木屋平三ツ木2		
図面名	軽量盛土中間床版コンクリート平面図		
縮尺	1:100	図面番号	17 / 34
会社名			
事業者名	西部総合県民局県土整備部く美馬		

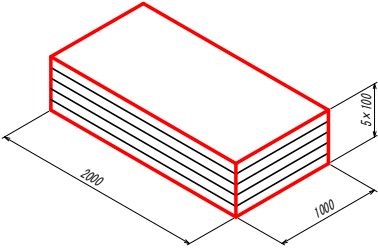
軽量盛土擁壁構造図 (1)
(EPS工詳細図)

EPSブロックの基本形状・物性規格 S=1:25

型内発泡法 EPSブロック

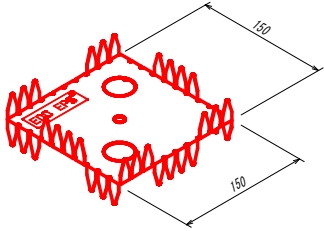


押出発泡法 EPSブロック

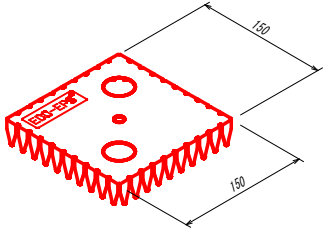


緊結金具詳細図

両爪型



片爪型



EPSブロック物性表

項 目	単 位	EPSブロック種別										試験方法
		型内発泡法						押出発泡法				
		D-35	D-30	D-25	D-20	D-16	D-12	DX-45	DX-35	DX-29	DX-24H	
単位体積重量	kN/m ³	0.35 +0.030 -0.020	0.30 +0.030 -0.020	0.25 +0.020 -0.015	0.20 +0.020 -0.010	0.16 +0.020 -0.010	0.12 +0.020 -0.010	0.45±0.050	0.35±0.030	0.29 +0.030 -0.020	0.24 +0.030 -0.010	JIS K 7222
圧 縮 強 度	kN/m ²	220以上	180以上	140以上	100以上	70以上	40以上	700以上	400以上	280以上	200以上	降伏ひずみ時もしくは 10%ひずみ時
許容圧縮応力度	kN/m ²	110	90	70	50	35	20	350	200	140	100	圧縮弾性領域
弾 性 係 数	kN/m ²	11000	9000	7000	5000	3500	2000	35000	20000	14000	10000	
・ 発泡スチロール土木工法開発機構 (EDO) の規格認定材料と同等品以上を使用する ・ は、本設計で使用するEPSブロックを示す。												

材料物性表

種 類	記 号	めっき付着量			引張試験値	
		両面等圧めっきの最小付着量(両面の合計 g/m ²)	3点平均付着量	1点最小付着量	降伏点 N/mm ²	引張強さ N/mm ²
構造用	SGLC400相当	AZ150	150	130	295以上	400以上
・発泡スチロール土木工法開発機構 (EDO) が指定した金具と同等品以上を使用する						

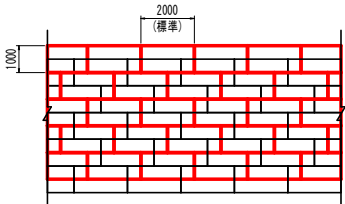
緊結金具の設置数

条 件	ブロックサイズ	個 数	摘 要
EPS 1m ² 当たり	—	2.30	レベル2地震動対応
EPS 1m ³ 当たり	2.0m×1.0m×0.5m	4.60	

- ・ 緊結金具の個数は、ロス分を含んだ数量とする。
- ・ 切断加工したブロックには、1ブロックあたり1個ないし2個使用とする。
- ・ 発泡スチロール土木工法開発機構 (EDO) が指定した金具と同等品以上を使用する事。

EPSブロック配置の参考例 S=1:100

平 面 図



- : 上層ステージ
 : 下層ステージ

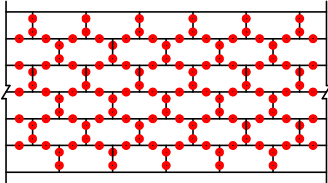
特記事項

- 本工事の軽量盛土工法
(1) 本工事における軽量盛土工法は、契約図書に示す構造条件等に対し、「EDO-EPS工法 設計・施工基準書 (2019年5月 発泡スチロール土木工法開発機構) (以下、「基準書」と示す)」により決定している。
(2) 本工事に施工に際し、上記1. (1)によらず別の軽量盛土工法を採用しようとする場合は、事前に監督職員の承諾を得なければならない。なお、この場合は、下記に示す耐震性能が実証実験で証明されていることを前提に、その実証実験により確立された設計手法で別途設計されているものでなければならない。

・ 軽量盛土工法は、下記に示す実証実験により耐震性能が証明出来るものでなければならない。
① 軽量盛土レベル : 軽量盛土高さ8m以上
② 地震動レベル : レベル2地震動
- 使用材料
(1) 発泡スチロールブロックについては、「基準書」第3章 材料 3. 2 EDO-EPSブロックに示される材料特性を満足するものとする。
(2) 緊結金具については、地震時における軽量盛土体に対する水平力に対し、発泡スチロールブロックの結合性能が金具のせん断抵抗力により確保できる機能を有するものとし、その性能・機能については、上記1. (2)に示す実証実験において、軽量盛土体の一体性の確保が証明される等、耐震性能が確保されていることを証明できるものでなければならない。
- 施工管理方法
本工事における軽量盛土工法の施工管理については、「施工管理基準」の他、「基準書」第6章 施工によるものとしているが、上記1. (2)により工法を採用する場合における施工管理方法は、監督職員と別途協議するものとする。

緊結金具の設置例 S=1:100
(レベル2地震動対応時の配置例)

平 面 図



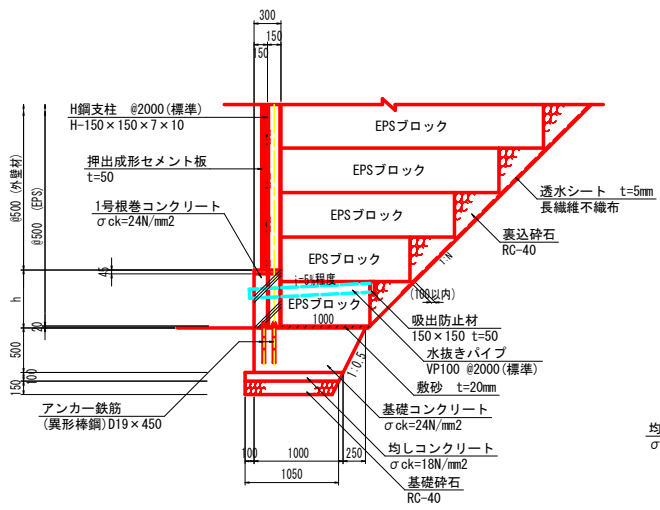
● 緊結金具

当初設計図面

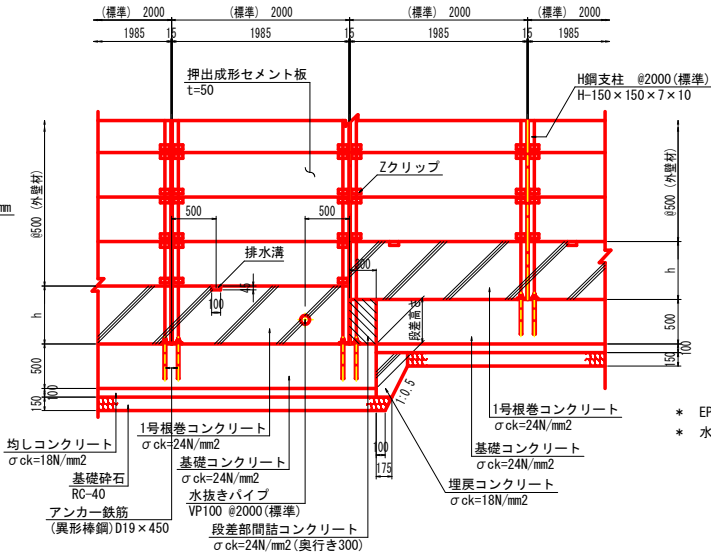
工事名	R7馬土 国道492号 美・大屋平三ツ木2 道路改良工事		
路線名等	一般国道492号		
工事箇所	美馬市大屋平三ツ木2		
図面名	軽量盛土擁壁構造図 (1)		
縮尺	図示	図面番号	18 / 34
会社名			
事業者名	西部総合県民局県土整備部く美馬		

軽量盛土擁壁構造図 (2)
(直接基礎-1)

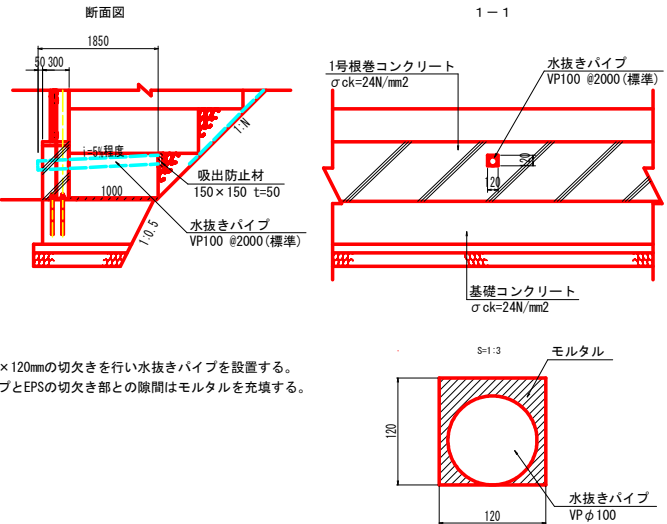
基礎工断面図 S=1:30



基礎工正面図 S=1:30

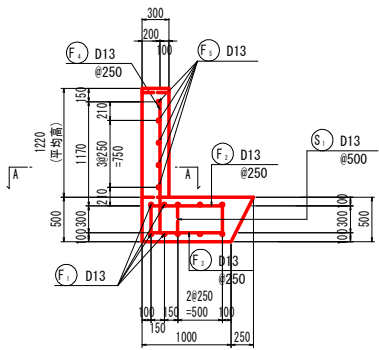


水抜きパイプ S=1:30

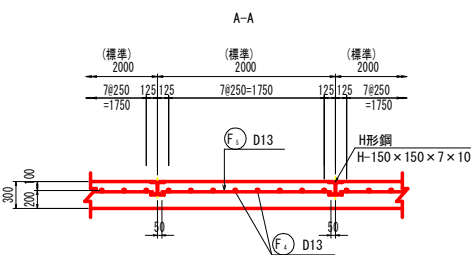


- * EPSに120mm×120mmの切欠きを行い水抜きパイプを設置する。
- * 水抜きパイプとEPSの切欠き部との隙間はモルタルを充填する。

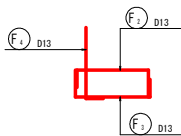
基礎コンクリート/1号根巻コンクリート配筋図 S=1:30



根巻コンクリート部配筋図 S=1:30



鉄筋組立図



鉄筋加工・継手寸法表

径	a	b	c	R	L
(mm)	(mm)	(mm)	(mm)	(mm)	(mm)
D13	66	164	230	42	410
D16	75	195	270	48	500
D19	94	236	330	60	600
D22	104	266	370	66	690
D25	122	308	430	78	790
D29	141	349	490	90	910
D32	151	389	540	96	1000

鉄筋加工表

種類		形式	径	本数	長さ	L1	L2	L3	L4
			(mm)	(本)	(mm)	(mm)	(mm)	(mm)	(mm)
F1	4	D13	10	10000	10000				
F2	3	D13	40	1300	800	300	195		
F3	3	D13	40	1300	800	195	300		
F4	1	D13	40	1670	1470	195			
F5	4	D13	25	1900	1900				
S1	2	D13	20	1380	526	326	100		

鉄筋質量表

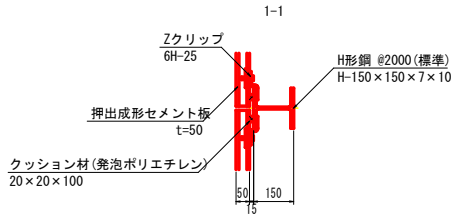
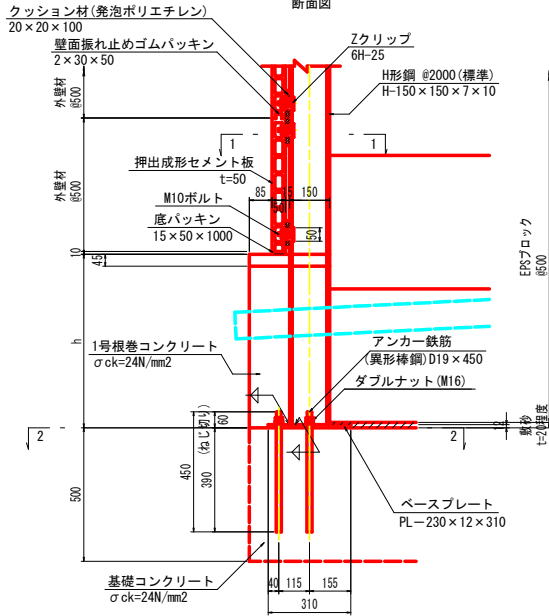
種類	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量	摘要
		(mm)	(本)	(kg/m)	(kg)	(kg)	
F1	D13	10000	10	0.995	9.950	99.500	
F2	D13	1300	40	0.995	1.294	51.760	
F3	D13	1300	40	0.995	1.294	51.760	
F4	D13	1670	40	0.995	1.662	66.480	(平均長)
F5	D13	1900	25	0.995	1.891	47.275	
S1	D13	1380	20	0.995	1.373	27.460	
根巻コンクリート						113.755	kg
基礎コンクリート						230.480	kg
総質量						344.235	kg

当初設計図面

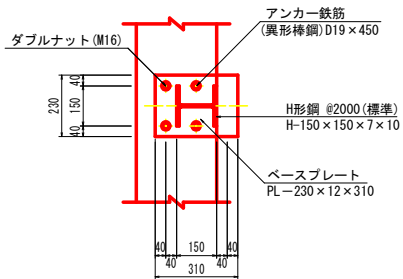
工事名	87馬土 国道492号 美・木屋平三ツ木2 道路改良工事
路線名等	一般国道492号
工事箇所	美馬市木屋平三ツ木2
図面名	軽量盛土擁壁構造図(2)
縮尺	図示 図面番号 19 / 34
会社名	
事業者名	西部総合県民局県土整備部<美馬>

(直接基礎-2)

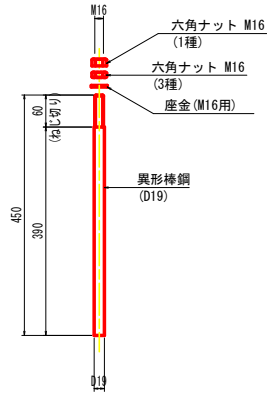
S=1:10



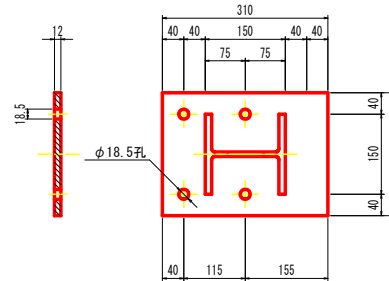
2-2



S=1:5



S=1:5



鋼材表

鋼材表							1箇所当り
種 別	細 別 ・ 規 格	枚数 (本数)	1枚(個)当り 質量 (kg)	質 量 (kg)	材 質	溶融亜鉛 メッキ仕様	摘 要
ベースプレート	PL-230×12×310	1	6.716	6.716	SS400	2種, HD255	
アンカー鉄筋	D19, L-450	4	1.013	4.052	SB345	2種, HD235	
ダブルナット	ナットM16 (1種)	4	0.034	0.136	SS400	〃	
	ナットM16 (3種)	4	0.026	0.104	SS400	〃	
	座 金 (M16用)	4	0.011	0.044	SS400	〃	

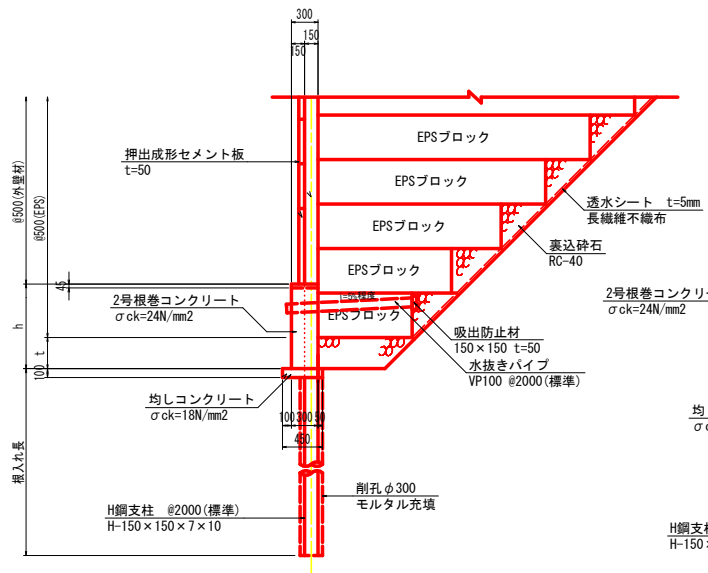
1箇所当り

当初設計図面

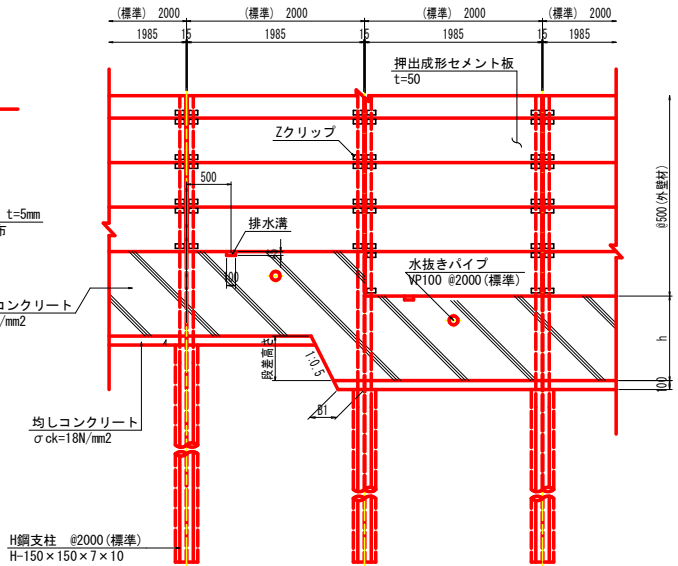
工事名	R7馬土 国道492号 美・木屋平三ツ木?道路改良工事		
路線名等	一般国道492号		
工事箇所	美馬市木屋平三ツ木2		
図面名	軽量堡土擁壁構造図(3)		
縮尺	図示	図面番号	20 / 34
会社名			
事業者名	西部総合集馬局県土整備部<美馬>		

軽量盛土擁壁構造図 (4)
(基礎工標準図)

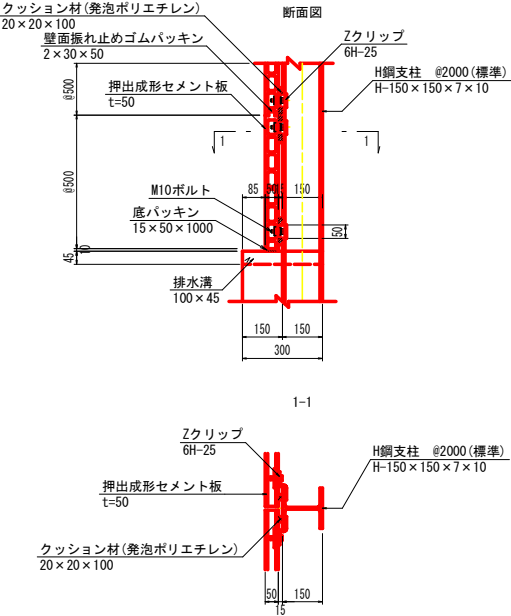
基礎工断面図 S=1:30



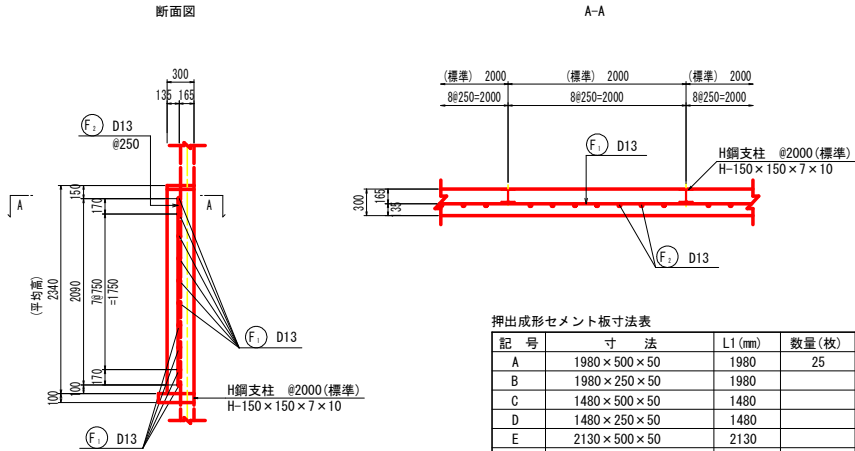
基礎工正面図 S=1:30



外壁材取付詳細図 S=1:10



2号根巻コンクリート配筋図 S=1:30

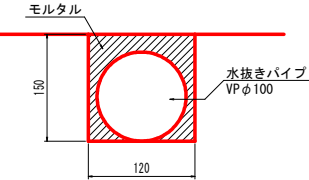


※ 基礎コンクリート壁高は平均長を示す。

押出成形セメント板寸法表			
記号	寸法	L1 (mm)	数量 (枚)
A	1980×500×50	1980	25
B	1980×250×50	1980	
C	1480×500×50	1480	
D	1480×250×50	1480	
E	2130×500×50	2130	
F	2130×250×50	2130	

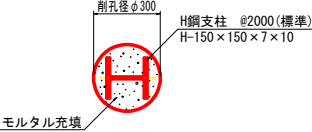
※ 記号は「壁面工展開図」に設置位置を記載
※ 端部の押出成形セメント板は、左右の向きに注意すること。

水抜きパイプ S=1:3



- * EPSに120mm×150mmの切欠きを行い水抜きパイプを設置する。
- * 水抜きパイプとEPSの切欠き部との隙間はモルタルを充填する。

削孔部断面図 S=1:10



鉄筋加工表		10.0m当り					
種別	形式	径	本数 (本)	長さ (mm)	L1 (mm)	L2 (mm)	L3 (mm)
F1	1	D13	10	10000	10000		
F2	1	D13	35	2090	2090		

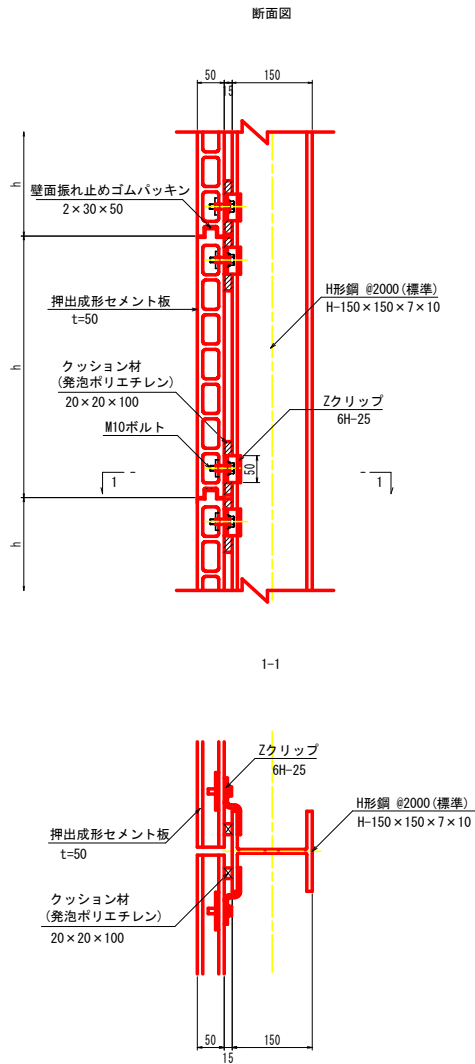
鉄筋質量表		10.0m当り					
種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	換算
F1	D13	10000	10	0.995	9.950	99.500	—
F2	D13	2090	35	0.995	72.800	72.800	— (平均長)
				D13	172.300 kg		
				総質量	172.300 kg		

当初設計図面

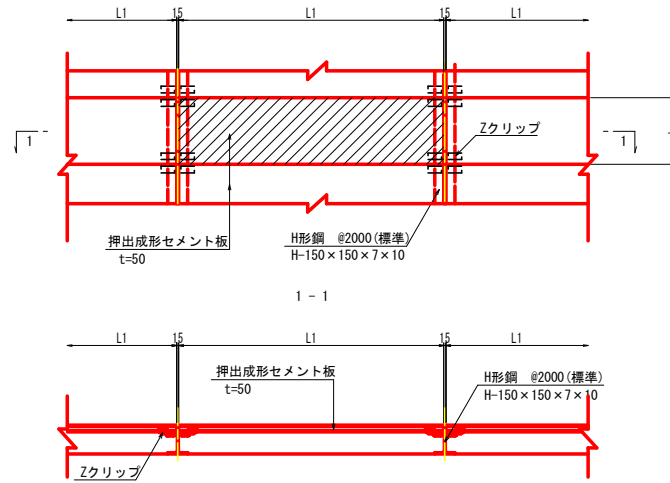
工事名	R7馬土 国道492号 美・木屋平三ツ木2 道路改良工事
路線名等	一般国道492号
工事箇所	美馬市木屋平三ツ木2
図面名	軽量盛土擁壁構造図 (4)
縮尺	図示 図面番号 21 / 34
会社名	
事業者名	西部総合県民局県土整備部く美馬

軽量盛土擁壁構造図 (5) (押出成形セメント板詳細図)

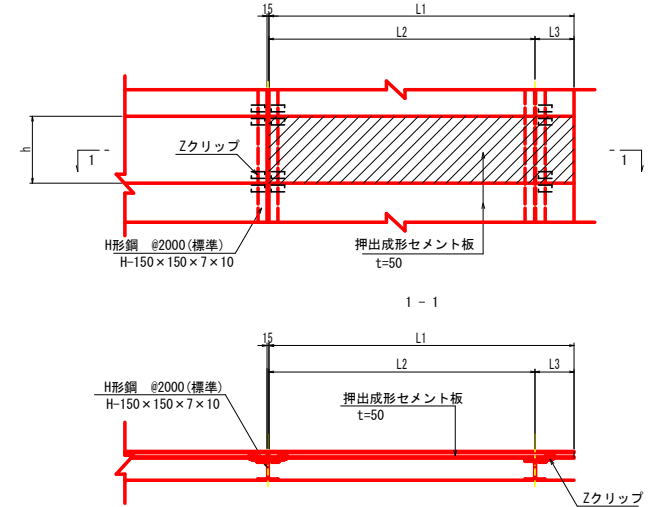
壁面材取付詳細図 S=1:5



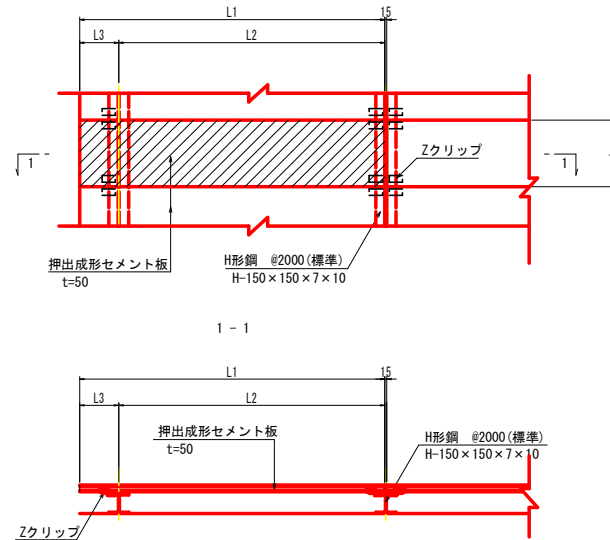
標準部詳細図(タイプA) S=1:20



終点側端部(タイプC) S=1:20



始点側端部詳細図(タイプB) S=1:20



押出成形セメント板寸法表

記号	寸 法 L1 × h × t	枚数	長さ (mm)			摘 要
			L1	L2	L3	
(A)	1980 × 500 × 50	25	1980			タイプA(標準部)
(B)	1980 × 250 × 50		1980			タイプA(標準部)
(C)	1480 × 500 × 50		1480			タイプA(標準部)
(D)	1480 × 250 × 50		1480			タイプA(標準部)
(E)	2130 × 500 × 50		2130	1832.5	300	タイプC(終点側端部)
(F)	2130 × 250 × 50		2130	1832.5	300	タイプC(終点側端部)

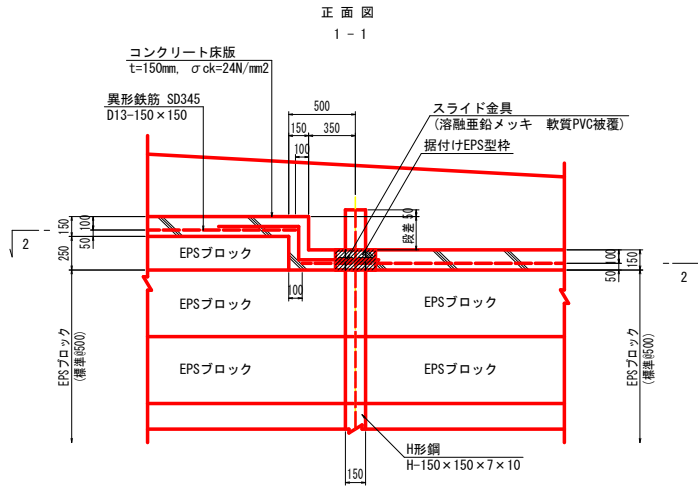
※ 記号は、「壁面工展開図」に設置位置を記載。

当初設計図面

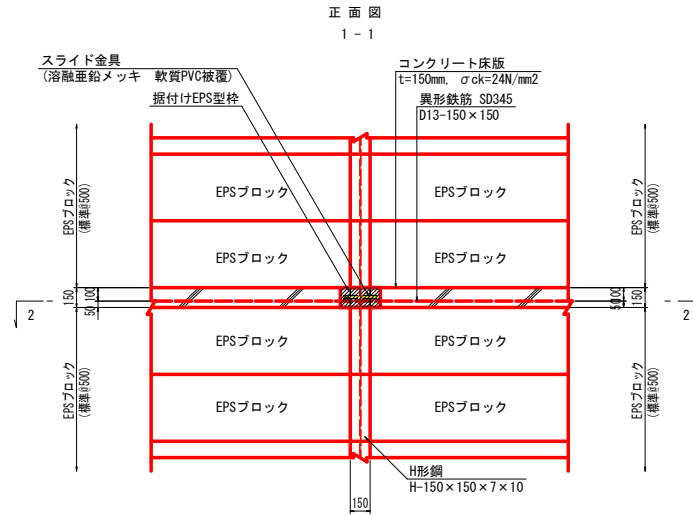
工事名	R7馬土 国道492号 美・木屋平三ツ木2 道路改良工事				
路線名等	一般国道492号				
工事箇所	美馬市木屋平三ツ木2				
図面名	軽量盛土擁壁構造図(5)				
縮尺	図示	図面番号	22	/	34
会社名					
事業者名	西部総合県民局県土整備部<美馬>				

軽量盛土擁壁構造図 (6) (コンクリート床版工詳細図)

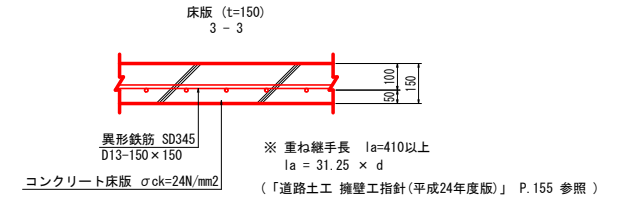
コンクリート床版 (t=150) S=1:20
(上部コンクリート床版)



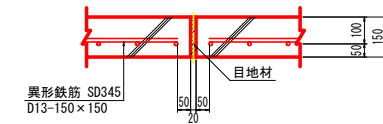
コンクリート床版 (t=150) S=1:20
(中間コンクリート床版)



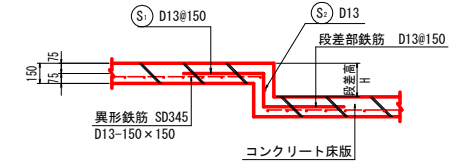
コンクリート床版工 S=1:10



伸縮目地詳細図
3-3



コンクリート床版段差部 S=1:20



段差部鉄筋加工表 (段差H=250) 段差奥行き10.0m当り

種別	形式	径	本数 (本)	長さ (mm)	L1 (mm)	L2 (mm)	L3 (mm)	L4 (mm)
S1	1	D13	67	1450	250	600		
S2	2	D13	1	10000	10000			

形式1 形式2

種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
S1	D13	1450	67	0.995	1.443	96.681	
S2	D13	10000	1	0.995	9.950	9.950	
総質量 D13 106.631 kg							

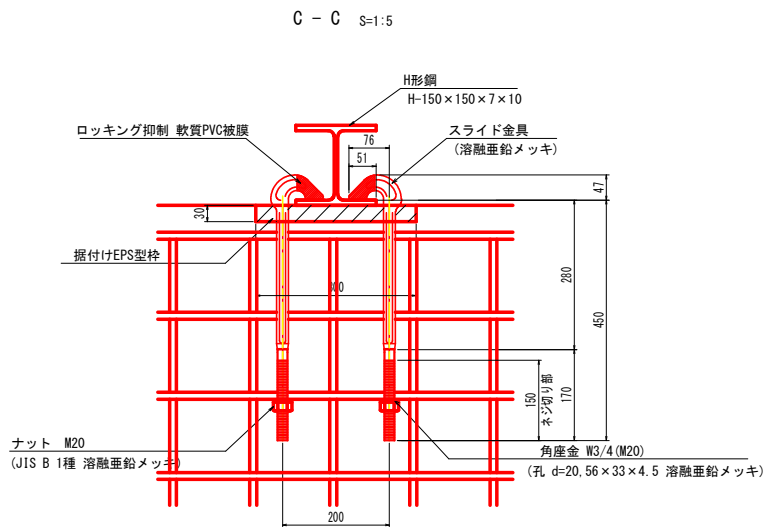
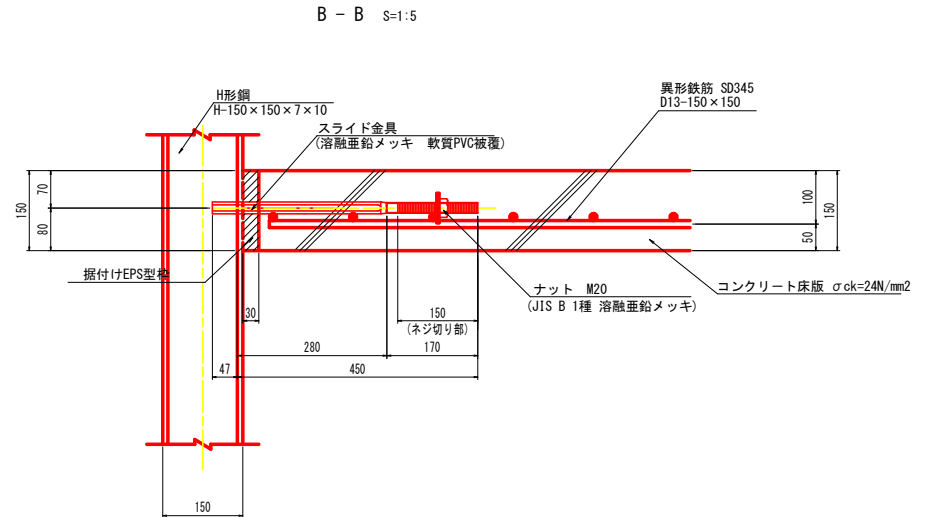
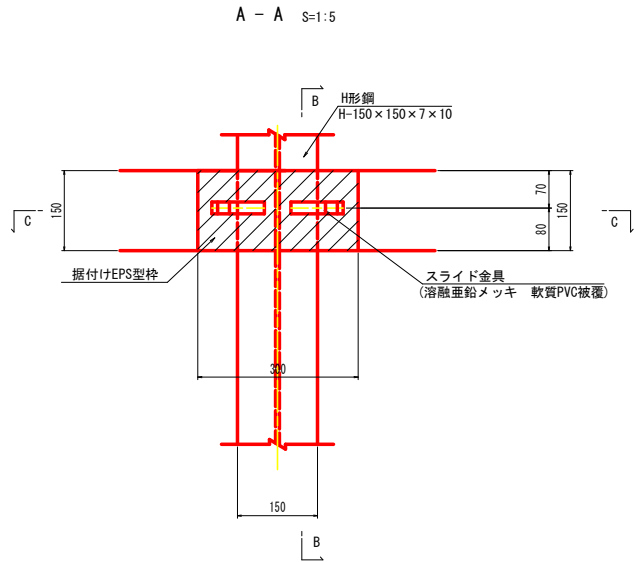
当初設計図面

スライド金具規格・数量表 1箇所当り

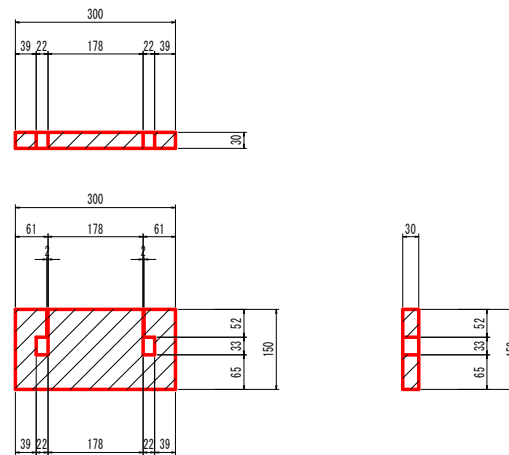
種別	細別・規格	数量 (箇所当り)	引張強さ	溶融亜鉛 メッキ仕様	摘要
スライド金具	スライド金具(本体)	2本	400N/mm ² 以上	HDZ35	先端部軟質PVC被覆
	ナット M20	2個	-	HDZ35	-
	角座金 W3/4 (M20)	2個	-	HDZ35	-
	据付けEPS型栓 (300×150×30)	1個	-	-	自己消火性タイプ

工事名	87馬土 国道492号 美・木屋平三ツ木2 道路改良工事
路線名等	一般国道492号
工事箇所	美馬市木屋平三ツ木2
図面名	軽量盛土擁壁構造図(6)
縮尺	図示 図面番号 23 / 34
会社名	
事業者名	西部総合県民局県土整備部く美馬>

軽量盛土擁壁構造図 (7)
(スライド金具詳細図)



据付けEPS型枠 S=1:5



スライド金具規格表

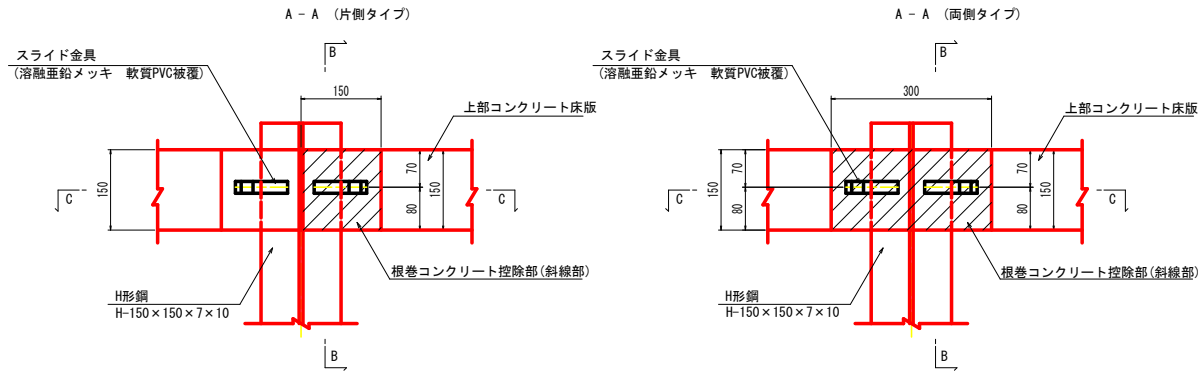
細別・規格	引張強さ	溶融亜鉛メッキ仕様	摘要
スライド金具(本体)	400N/mm2以上	HDZ35	先端部軟質PVC被覆
ナット M20	-	HDZ35	-
角座金 W3/4 (M20)	-	HDZ35	-
据付けEPS型枠(300×150×30)	-	-	自己消火性タイプ

当初設計図面

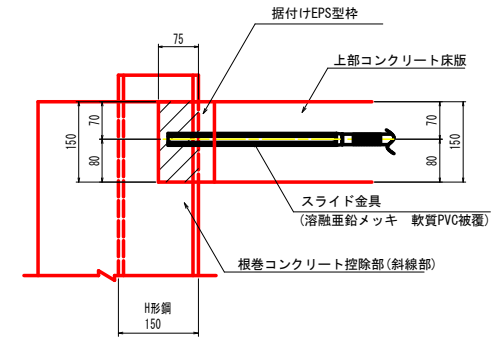
工事名	R7馬土 国道492号 美・木屋平三ツ木2 道路改良工事		
路線名等	一般国道492号		
工事箇所	美馬市木屋平三ツ木2		
図面名	軽量盛土擁壁構造図(7)		
縮尺	図示	図面番号	24 / 34
会社名			
事業者名	西部総合県民局県土整備部く美馬		

軽量盛土擁壁構造図（８） （スライド金具取付詳細図）

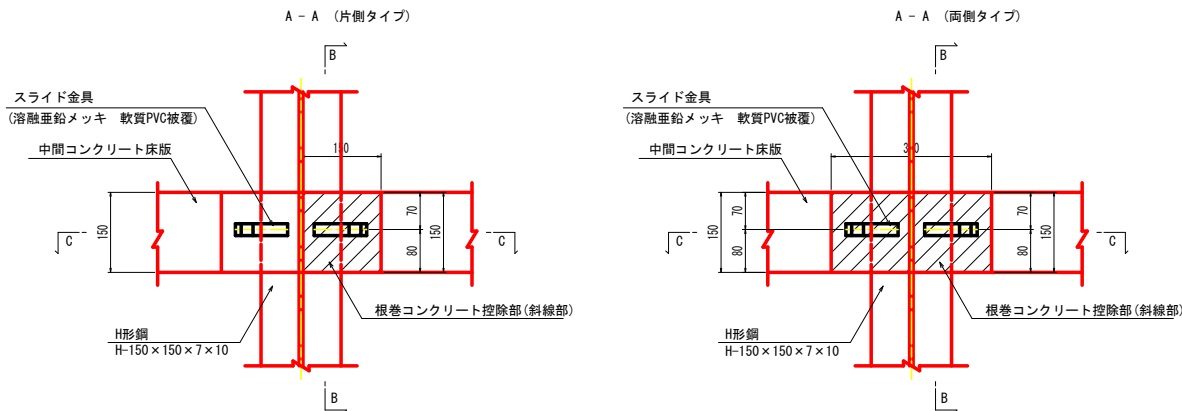
上部コンクリート床版部 S=1:5



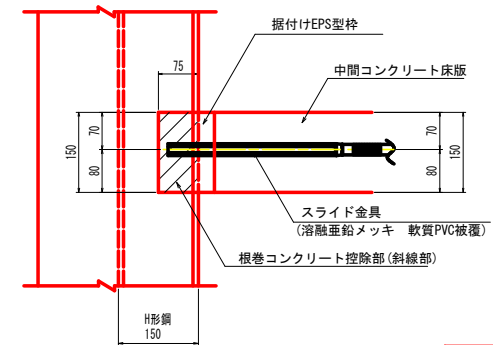
B - B



中間コンクリート床版部 S=1:5

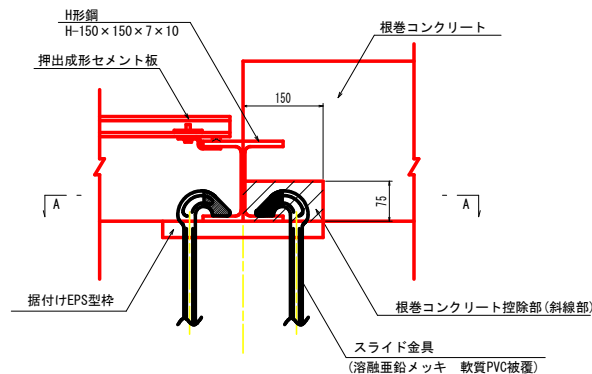


B - B

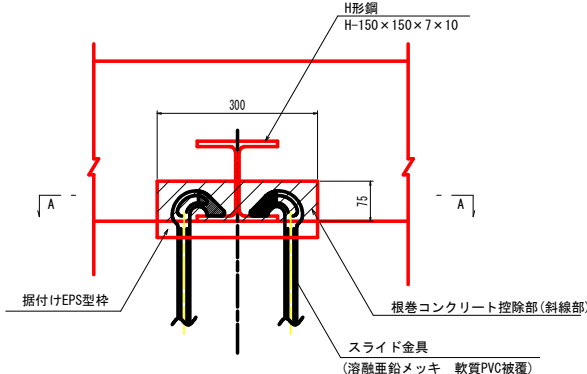


 根巻コンクリート控除部

C - C (上部・中間床版共通)



C - C (上部・中間床版共通)



根巻コンクリート控除数量表				1箇所当り
	高さ h(m)	幅(m)	奥行き(m)	控除体積(m3)
両側タイプ	0.150	0.300	0.075	0.003
片側タイプ	0.150	0.150	0.075	0.002

根巻コンクリート切欠き位置

	片側タイプ	両側タイプ
上部コンクリート床版	支柱No. P3, 8, 9	支柱No. P1, 2
中間コンクリート床版(1)	-	支柱No. P8, 9
中間コンクリート床版(2)	支柱No. P6, 8, 9, 11	支柱No. P5, 12

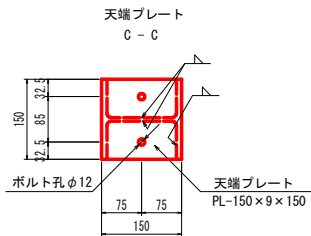
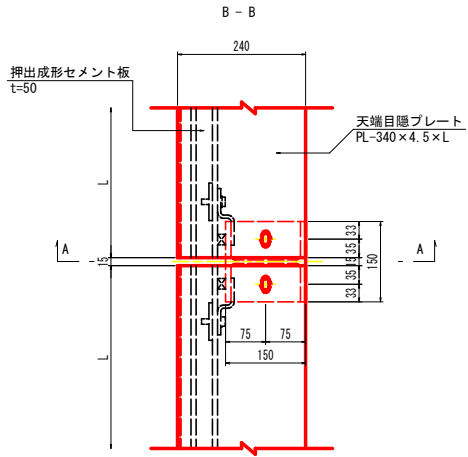
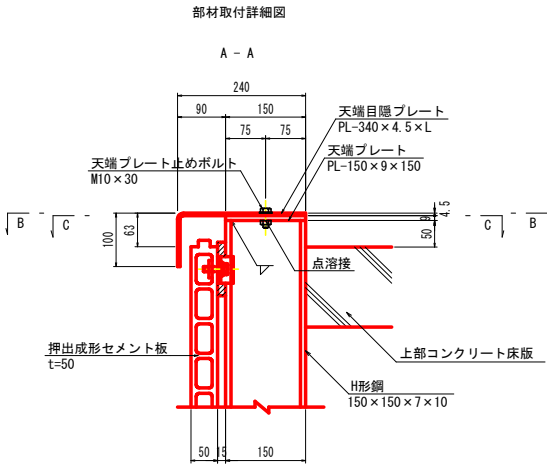
※根巻コンクリート部の控除は、H鋼に接続するスライド金具が上下に移動できるよう、根巻コンクリートに切欠き処理を行うことを目的とする。
図示している控除寸法は参考寸法なので、それを目安に施工を行うこと。

当初設計図面

工事名	87馬土 国道492号 美・木屋平三ツ木2 道路改良工事
路線名等	一般国道492号
工事箇所	美馬市木屋平三ツ木2
図面名	軽量盛土擁壁構造図(8)
縮尺	図示 図面番号 25 / 34
会社名	
事業者名	西部総合県民局県土整備部く美馬

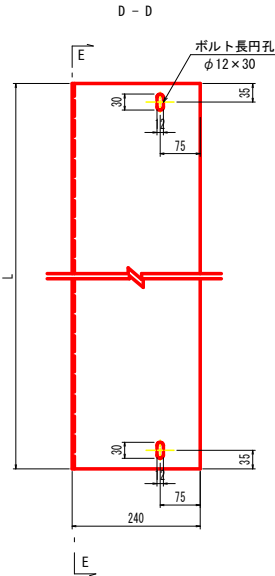
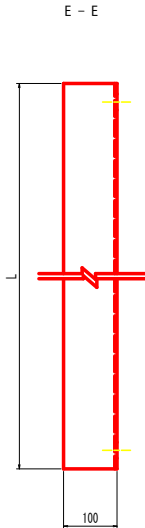
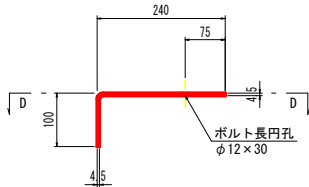
軽量盛土擁壁構造図 (9)
(H形鋼天端部部材詳細図)

天端目隠プレート・天端プレート詳細図 S=1:5

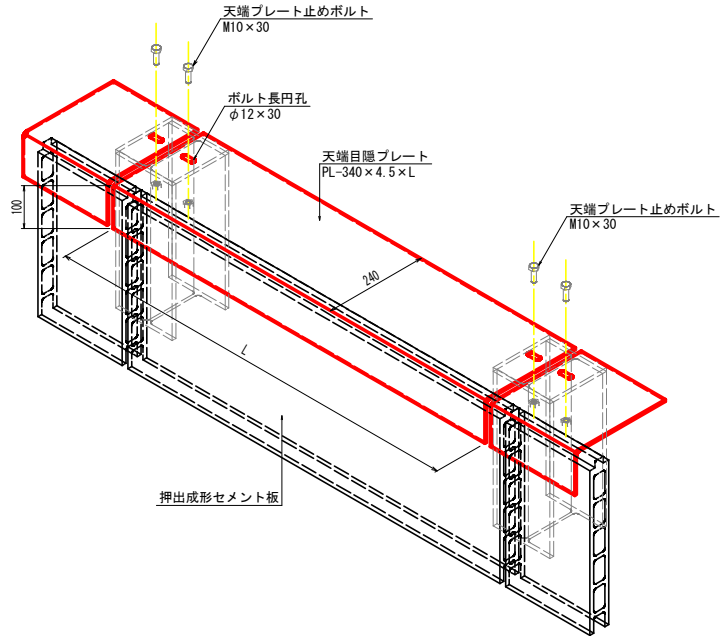


天端目隠プレート

断面図



天端目隠プレート俯瞰図 S=1:5



天端目隠プレート寸法表

記号	寸 法	L(mm)	数量(枚)	摘 要
TP1	PL-340×4.5×1980	1980	5	
TP2	PL-340×4.5×1390	1390		
TP3	PL-340×4.5×2130	2130		

※ 記号は「軽量盛土擁壁一般図」に設置位置を記載

鋼材規格表

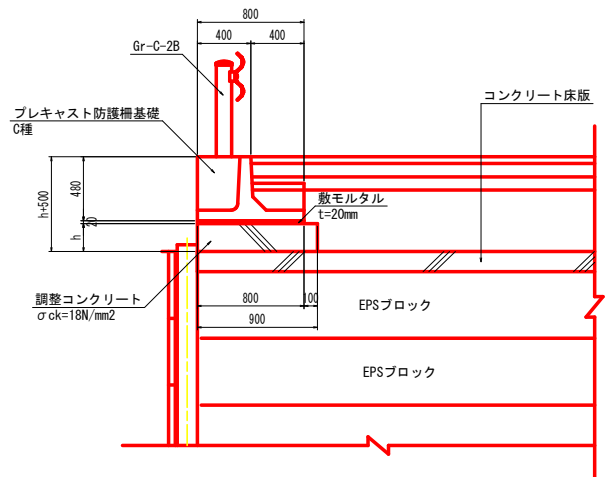
種 別	材 質	溶融亜鉛 メッキ仕様	摘 要
天端プレート	SS400	2種, HDZ55	
天端目隠プレート	SS400	2種, HDZ45	
天端プレート止めボルト	SS400	2種, HDZ35	

当初設計図面

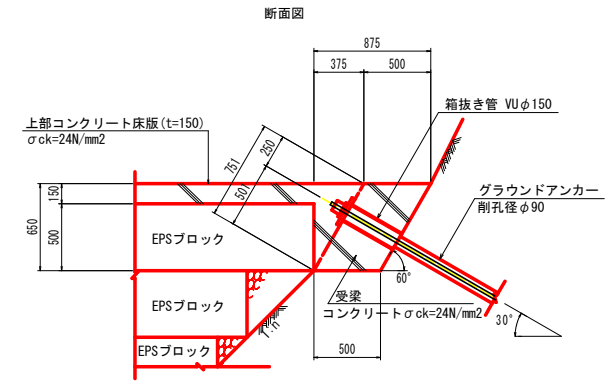
工事名	R7馬土 国道492号 美・木屋平三ツ木2 道路改良工事		
路線名等	一般国道492号		
工事箇所	美馬市木屋平三ツ木2		
図面名	軽量盛土擁壁構造図(9)		
縮尺	図示	図面番号	26 / 34
会社名			
事業者名	西部総合県民局県土整備部く美馬		

軽量盛土擁壁構造図 (12)

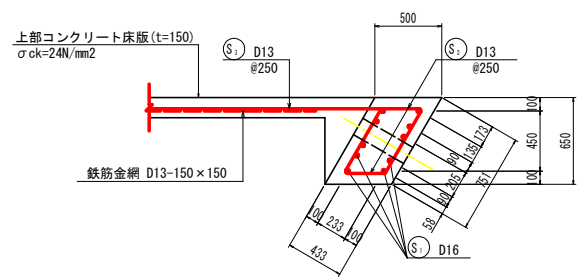
プレキャスト防護柵基礎 S=1:20



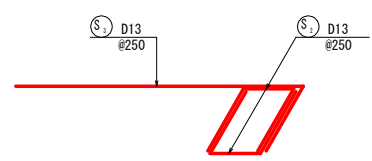
抑止工受梁 S=1:20



配筋図



鉄筋組立図



鉄筋加工表 10.0m当り

種別	形式	径	本数 (本)	長さ (mm)	L1 (mm)	L2 (mm)	θ1 (°)
S1	2	D16	10	10000	10000		
S2	1	D13	80	1430	309	560	60
S3	3	D13	40	2000	1458	542	60

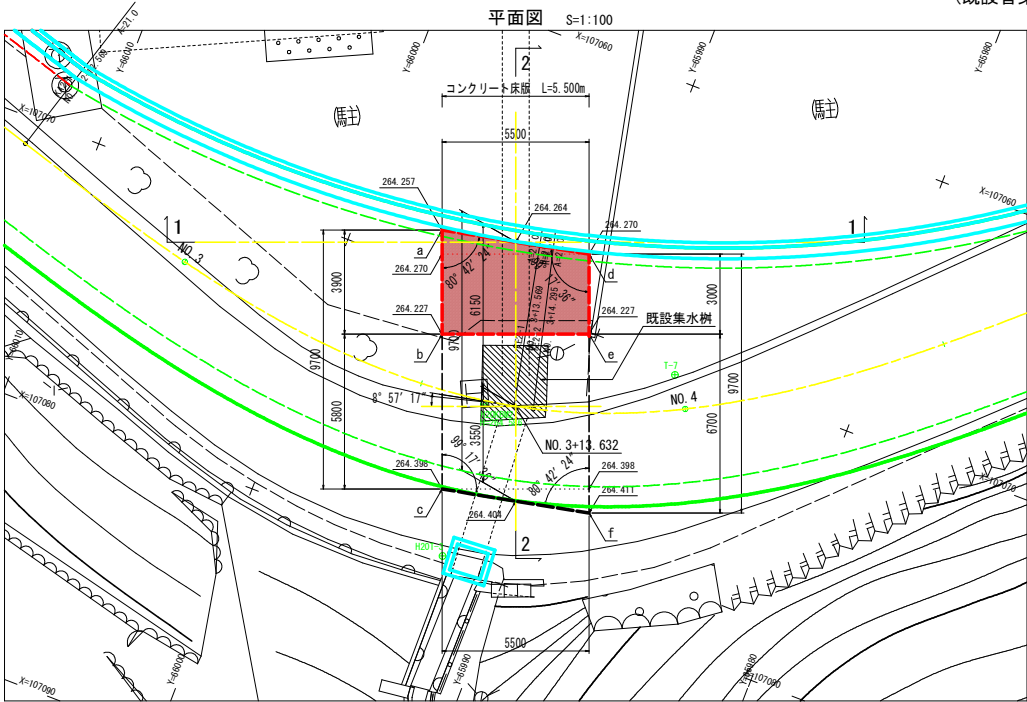
鉄筋質量表 (材質:SD345) 10.0m当り

種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
S1	D16	10000	10	1.560	15.600	156.000	—
S2	D13	1430	80	0.995	1.423	113.840	⌒
S3	D13	2000	40	0.995	1.990	79.600	⌒
						D16	156.000 kg
						D13	193.440 kg
						総質量	349.440 kg

当初設計図面

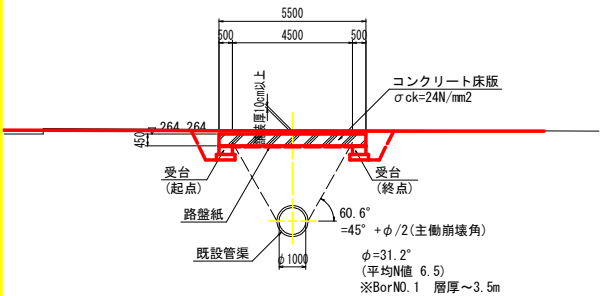
工事名	R7馬土 国道492号 美・木屋平三ツ木2 道路改良工事		
路線名等	一般国道492号		
工事箇所	美馬市木屋平三ツ木2		
図面名	軽量盛土擁壁構造図(12)		
縮尺	図示	図面番号	27 / 34
会社名			
事業者名	西部総合県民局県土整備部く美馬		

NO. 3+13.0付近コンクリート床版一般図
(既設管渠防護工)



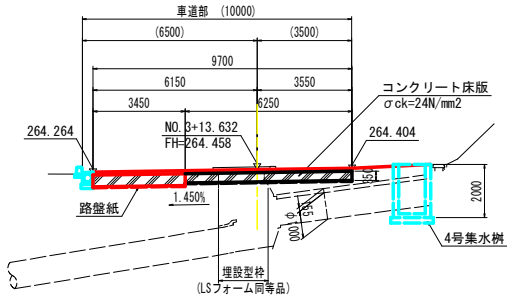
コンクリート床版主要点座標 (単位: m)					
点名称	X座標	Y座標	床版上面高	路面高	舗装厚
a	107068.406	65996.831	264.257	264.380	0.123
b	107072.046	65995.432	264.227	264.426	0.199
c	107077.460	65993.352	264.398	264.502	0.104
d	107067.273	65991.374	264.270	264.372	0.102
e	107070.074	65990.298	264.227	264.417	0.190
f	107076.328	65987.895	264.411	264.514	0.104

1-1断面 S=1:100



DL=255.000

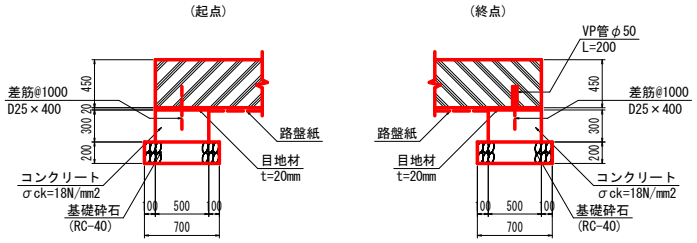
2-2断面 S=1:100



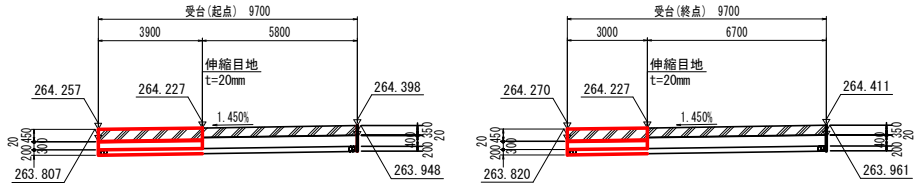
DL=255.000

注)掘削時には、既設管渠に損傷を与えないように注意のこと。

受台 S=1:25



受台展開図 S=1:100



DL=260.000

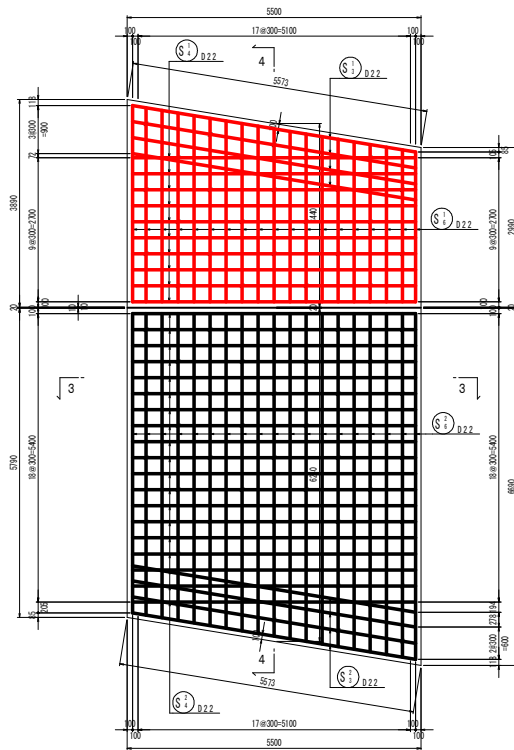
(1.0式当たり)		
名 称	数	量
床版コンクリート	8.514	m3
受台コンクリート	1.033	m3
床版型枠	8.079	m2
受台型枠	4.628	m2
埋設型枠		
目地材	3.75	m2
路盤紙	15.525	m2
基礎碎石	4.816	m2
差筋	10.815	kg

当初設計図面

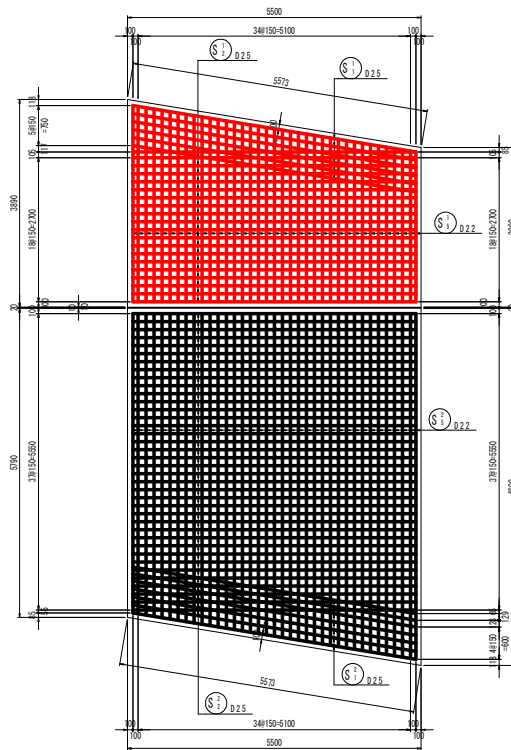
工事名	R7馬土 国道492号 美・木屋平三ツ木2 道路改良工事		
路線名等	一般国道492号		
工事箇所	美馬市木屋平三ツ木2		
図面名	コンクリート床版一般図		
縮尺	図示	図面番号	28 / 34
会社名			
事業者名	西部総合県民局県土整備部<美馬>		

コンクリート床版配筋図 (1)

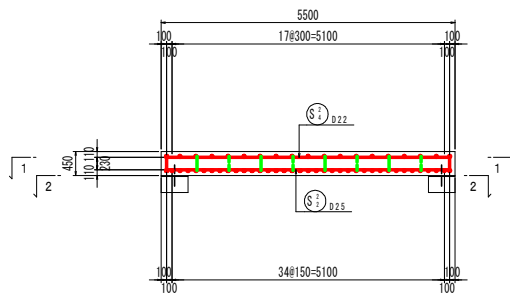
上面 (1-1) S=1:50



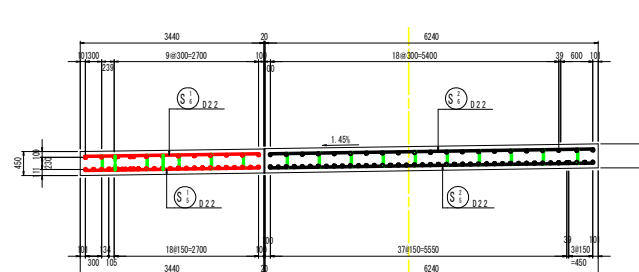
下面 (2-2) S=1:50



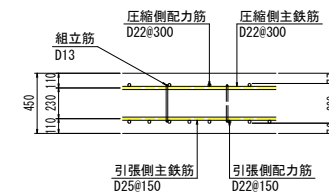
橋軸方向 (1-1) S=1:50



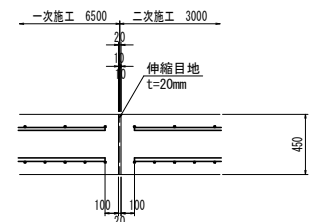
橋軸直角方向 (2-2) S=1:50



かぶり詳細図 S=1:20



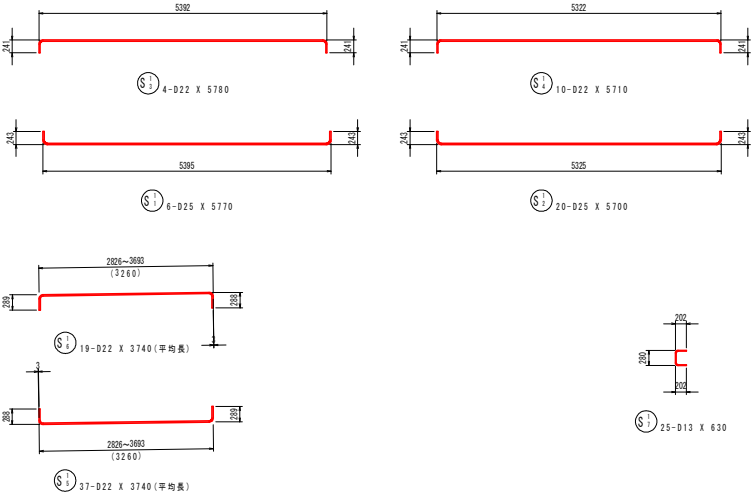
縦目地詳細図 S=1:20



当初設計図面

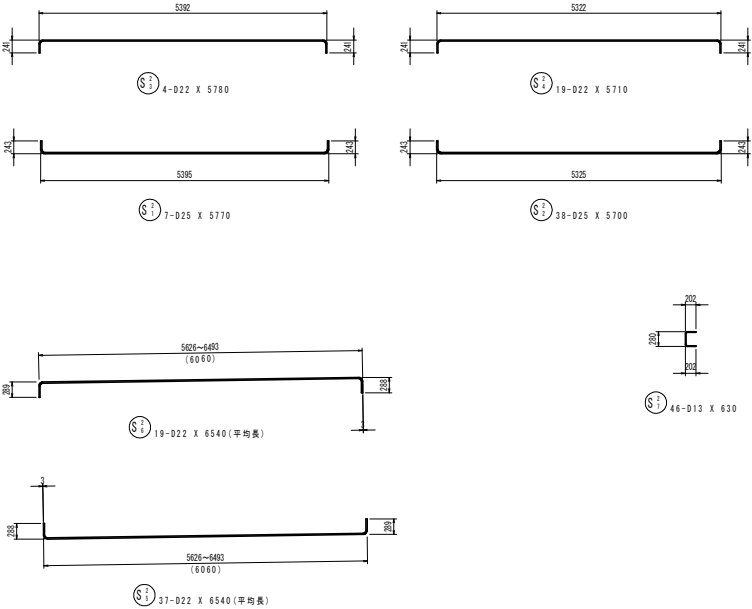
工事名	R7馬土 国道492号 美・木屋平三ツ木2 道路改良工事		
路線名等	一般国道492号		
工事箇所	美馬市木屋平三ツ木2		
図面名	コンクリート床版配筋図(1)		
縮尺	図示	図面番号	29 / 34
会社名			
事業者名	西部総合県民局県土整備部<美馬>		

コンクリート床版配筋図 (2) s=1:50



鉄筋質量表

記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	備考
S1	D25	5770	6	3.98	22.96	138	
S2	D25	5700	20	3.98	22.69	454	
S3	D22	5780	4	3.04	17.57	70	
S4	D22	5710	10	3.04	17.36	174	
S5	D22	3740	37	3.04	11.37	421	(平均長)
S6	D22	3740	19	3.04	11.37	216	(平均長)
S7	D13	630	25	0.995	0.63	16	C
1489							
S1	D25	5770	7	3.98	22.96		
S2	D25	5700	38	3.98	22.69		
S3	D22	5780	4	3.04	17.57		
S4	D22	5710	19	3.04	17.36		
S5	D22	6540	37	3.04	19.88		(平均長)
S6	D22	6540	19	3.04	19.88		(平均長)
S7	D13	630	46	0.995	0.63		C
合計							
合 計				D25	592 kg		
				D22	881 kg		
				D13	16 kg		
総質量					1489 kg		

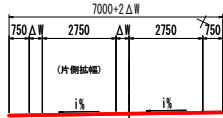


当初設計図面

工事名	R7馬土 国道492号 美・木屋平三ツ木2 道路改良工事		
路線名等	一般国道492号		
工事箇所	美馬市木屋平三ツ木2		
図面名	コンクリート床版配筋図(2)		
縮尺	図示	図面番号	30 / 34
会社名			
事業者名	西部総合県民局県土整備部<美馬>		

線形図(1) S=1:250

道路の区分：第3種第4級
設計速度：V=20km/h
標準幅員：



道路中心線IP点座標一覧表

IP点名称	X座標	Y座標	A1	R	A2	接線長	接線角	交角
BP	107060.7288	66063.9577						
IP-1	107061.6809	66043.4515		160.0000	65.0000	20.5283	272° 39' 30.15"	14° 5' 49.06"
IP-2	107077.5697	65990.6765	21.0000	21.0000	21.0000	55.1490	286° 45' 19.21"	59° 16' 35.12"
IP-3	107039.6523	65948.3602		160.0000		31.5227	211° 10' 15.59"	16° 18' 28.49"
IP-4	107012.7107	65933.0442		60.0000		31.0175	227° 28' 48.55"	16° 18' 28.49"
IP-5	106991.7476	65910.1830		47.5000		54.3019	176° 56' 44.79"	50° 32' 3.76"
EP	106937.5229	65913.0763						

用地幅杭座標一覧表

点名称	測点	離れ	X座標	Y座標
HL1	0 + 10.0000	5.80	107055.7387	66053.3591
HL2	0 + 19.0000	5.50	107057.3084	66044.1708
HL3	1 + 0.0000	4.00	107058.9596	66043.4069
HL4	1 + 10.0000	4.10	107060.9211	66033.3515
HL5	2 + 0.0000	4.10	107063.4853	66023.5103
HL6	2 + 10.0000	4.10	107066.3141	66013.8424
HL7	2 + 12.5693	4.00	107067.1509	66011.4077
HL8	3 + 0.0000	5.30	107067.8133	66004.1963
HL9	3 + 13.0000	7.00	107066.8173	65993.7757
HL10	4 + 0.0000	6.60	107065.5327	65988.9648
HL11	4 + 10.0000	4.70	107062.0970	65980.8370
HL12	5 + 0.0000	3.90	107056.0689	65973.0002
HL13	5 + 3.5000	3.90	107053.7034	65970.4206
HL14	5 + 3.5000	5.00	107052.8927	65971.1640
HL15	5 + 10.0000	5.00	107048.5497	65966.5158
HL16	6 + 0.0000	5.00	107041.5944	65959.7749
HL17	6 + 10.0000	5.00	107034.2316	65953.4815
HL18	7 + 0.0000	5.00	107026.4901	65947.6603
HL19	7 + 0.0000	7.70	107024.9256	65949.8679
HL20	7 + 10.0000	7.70	107016.9866	65944.6344
HL21	8 + 0.0000	7.80	107007.8534	65938.3545
HL22	8 + 13.0732	6.60	106999.0420	65928.2210

基準点座標一覧表(H30)

点名	X座標	Y座標
T-1	107384.399	66080.192
T-2	107218.696	66071.549
T-3	107130.463	66136.191
T-4	107073.176	66118.419
T-5	107057.094	66082.987
T-6	107063.645	66034.580
T-7	107070.343	65986.754
T-8	107038.821	65986.627
T-9	106796.108	66099.686
T-10	106736.218	66093.551
T-11	106707.324	66055.580
T-12	106659.134	65984.046
H30KBM1	107056.627	66082.657
H30KBM2	106529.134	65984.046

補助基準点座標一覧表(R1)

点名	X座標	Y座標
T-7-1	107024.395	65935.577
T-7-2	107102.584	66018.858
T-7-3	107121.061	65982.189
T-7-4	107104.689	65959.039
T-7-5	107064.102	65912.416
T-7-6	107047.146	65948.991

道路中心線主要点座標一覧表

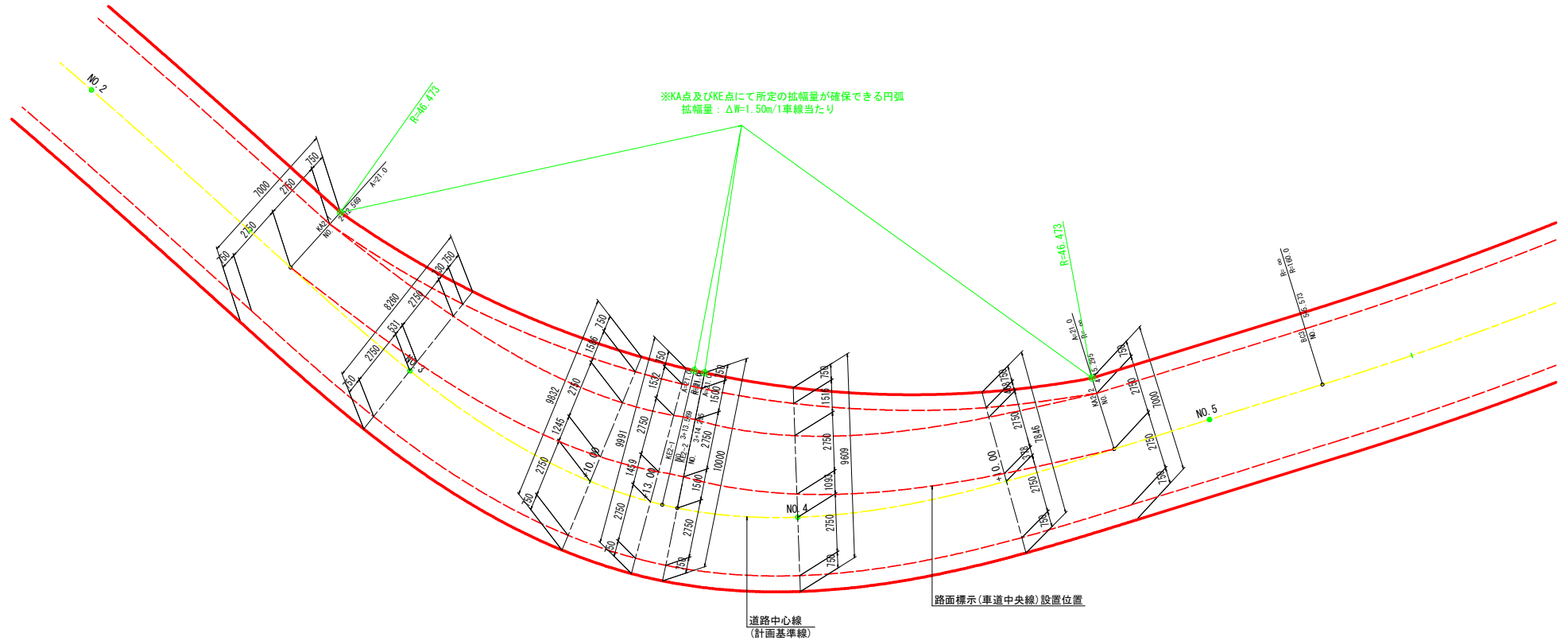
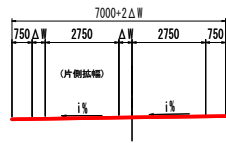
主要点名称	測点	追加距離	X座標	Y座標	線形要素	接線角
BC1	NO. 0 + 0.0000	0.0000	107060.7288	66063.9577	R=160.0000	272° 39' 30.15"
KE1	NO. 1 + 6.1630	26.1630	107064.0689	66038.0381	A=65.0000	282° 1' 38.33"
KA1	NO. 2 + 12.5693	52.5693	107070.9810	66012.5609	A=21.0000	286° 45' 19.21"
KE2-1	NO. 3 + 13.5693	73.5693	107073.5834	65991.8683	R=21.0000	258° 6' 26.80"
KE2-2	NO. 3 + 14.2952	74.2952	107073.4315	65991.2506	A=21.0000	256° 7' 38.49"
KA2-2	NO. 4 + 15.2952	95.2952	107062.1231	65973.8319	R=∞	227° 28' 44.08"
BC3	NO. 5 + 5.5733	105.5733	107055.1765	65966.2566	R=160.0000	227° 28' 44.08"
EC3	NO. 7 + 11.1136	151.1136	107020.0670	65937.4943	R=60.0000	211° 10' 15.59"
EC4	NO. 8 + 1.1925	168.1925	107006.9000	65926.7074	R=∞	227° 28' 48.35"
EC5	NO. 10 + 10.0871	210.0871	106969.3596	65911.3776	R=47.5000	176° 56' 44.79"
EP	NO. 12 + 1.9491	241.9491	106937.5229	65913.0763	R=∞	176° 56' 44.79"

当初設計図面

工事名	R7馬土 国道492号 美・木屋平三ツ木2 道路改良工事
路線名等	一般国道492号
工事箇所	美馬市木屋平三ツ木2
図面名	線形図(1)
縮尺	1:250
図面番号	31 / 34
会社名	西部総合建設株式会社
事業者名	西部総合建設株式会社 美馬市土木部

線 形 図 (2) S=1:100
(KA2-1~KA2-2幅員線設定図)

道路の区分：第3種第4級
設計速度：V=20km/h
標準幅員：



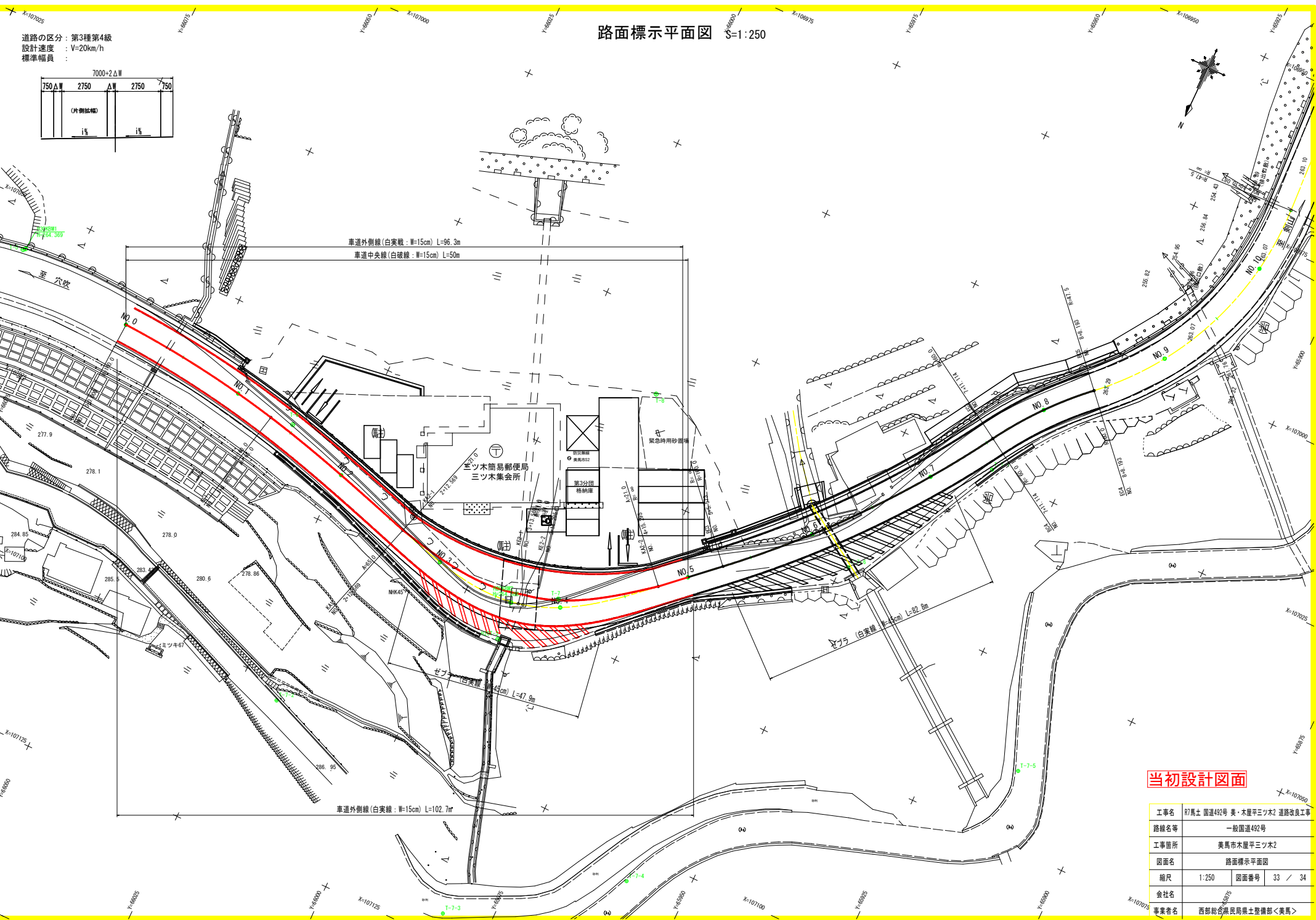
当初設計図面

工事名	R7馬土 国道492号 美・木屋平三ツ木2 道路改良工事		
路線名等	一般国道492号		
工事箇所	美馬市木屋平三ツ木2		
図面名	線形図(2)		
縮尺	1:100	図面番号	32 / 34
会社名			
事業者名	西部総合農林局県土整備部<美馬>		

$\bar{S}=1:250$

標準幅員：

Figure 10-10 is a schematic diagram of a four-span continuous beam. The beam is supported by five supports, with the first and last supports being fixed (labeled 'Δ') and the intermediate three supports being roller supports (labeled 'W'). The span lengths are 750, 2750, 2750, and 750. The diagram also shows the beam's cross-section and the location of the supports.



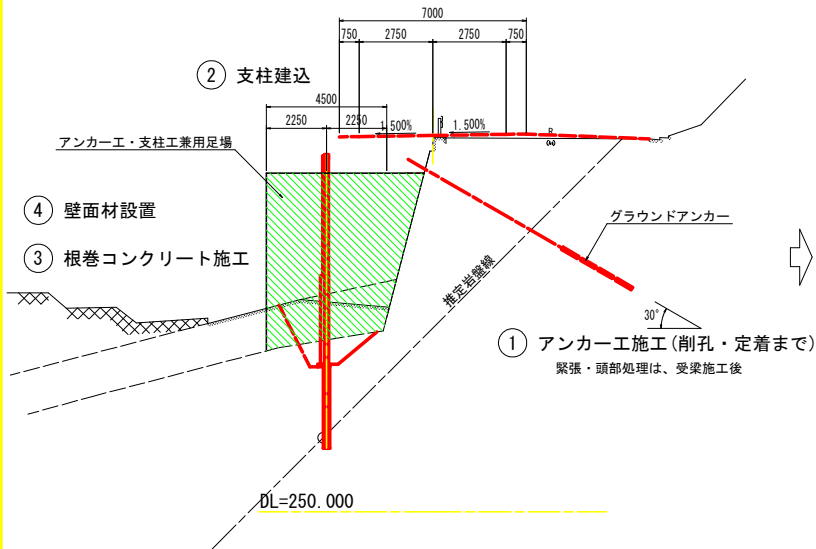
当初設計図面

工事名	R7馬士 国道492号・美・木屋平三ツ木2 道路改良工事		
路線名等	一般国道492号		
工事箇所	美馬市木屋平三ツ木2		
図面名	路面標示平面図		
縮尺	1:250	図面番号	33 / 34
会社名			
事業者名	西部総合県民局県土整備部<美馬>		

軽量盛土擁壁施工要領図(案) S=1:100

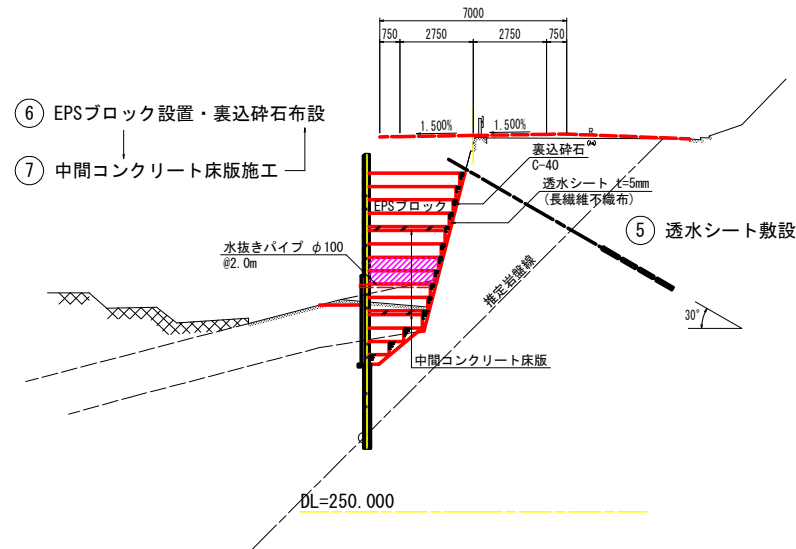
STEP-1

NO. 6付近
(杭基礎部)



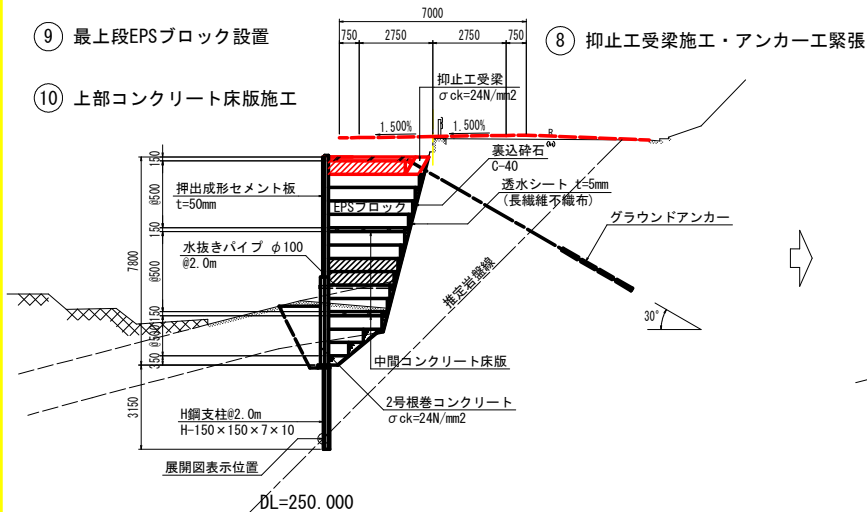
STEP-2

NO. 6付近
(杭基礎部)



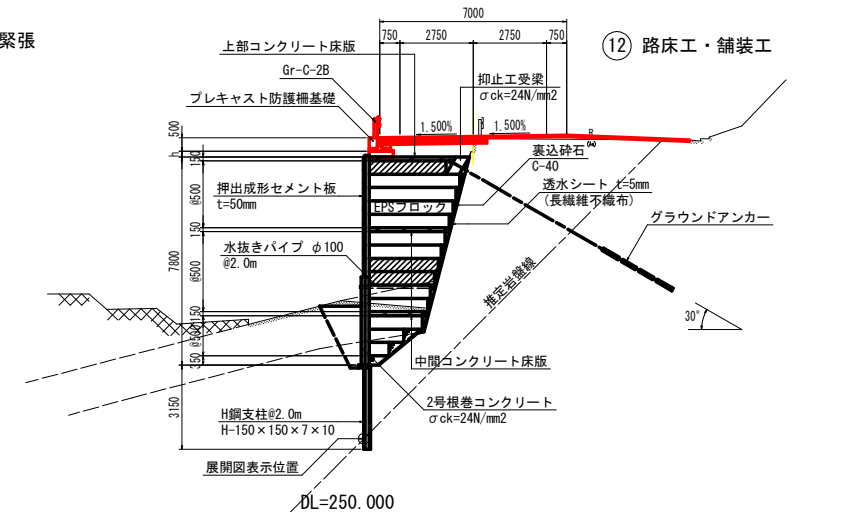
STEP-3

NO. 6付近
(杭基礎部)



STEP-4

NO. 6付近
(杭基礎部)



START

- ① アンカー工施工 (削孔・定着まで)
 - ② 支柱建込
 - ③ 根巻コンクリート施工
 - ④ 壁面材設置
 - ⑤ 透水シート敷設
 - ⑥ EPSブロック設置・裏込砕石布設
 - ⑦ 中間コンクリート床版施工
 - ⑧ 抑止工受梁施工・アンカー工緊張
 - ⑨ 最上段EPSブロック設置
 - ⑩ 上部コンクリート床版施工
 - ⑪ 防護柵基礎・防護柵設置
 - ⑫ 路床工・舗装工
- END

当初設計図面

工事名	R7馬土 国道492号 美・木屋平三ツ木2 道路改良工事		
路線名等	一般国道492号		
工事箇所	美馬市木屋平三ツ木2		
図面名	軽量盛土施工要領図(案)		
縮尺	1:100	図面番号	34 / 34
会社名			
事業者名	西部総合県民局県土整備部く美馬		